

# 四銀|経営情報|

Shigin Management Information

1

2021  
No.176

## 新年挨拶

新年を迎えて

株式会社 四国銀行 頭取 山元 文明

## 企業訪問 トップに聞く

「飛耳長目」

第43回

株式会社ヒワサキ

代表取締役 日和崎 守 氏

寄稿 2020 年の経済動向、2021 年の展望

日本銀行高知支店支店長 中山 智裕 氏

寄稿 2020 年版「高知県の幸福度」

～高知県民総幸福度 (GKH) 指標～

土佐経済同友会

GKH委員会委員長 刈谷 敏久 氏

特別調査 第 2 回新型コロナウイルス感染拡大の高知県内企業への影響調査

調査 第 150 回 高知県内企業の景況調査



四銀

# 経営情報

2021  
No.176

1

## 目次

## 内 容

- |    |                                            |                              |
|----|--------------------------------------------|------------------------------|
| 1  | 新年を迎えて                                     | 株式会社 四国銀行 頭取 山元 文明           |
| 2  | 企業訪問 トップに聞く『飛耳長目』<br>第43回 株式会社ヒワサキ         | 代表取締役 日和崎 守 氏                |
| 9  | 寄稿<br>2020年の経済動向、2021年の展望                  | 日本銀行高知支店支店長 中山 智裕 氏          |
| 15 | 寄稿<br>2020年版「高知県の幸福度」<br>～高知県民総幸福度(GKH)指標～ | 土佐経済同友会<br>GKH委員会委員長 刈谷 敏久 氏 |
| 28 | 特別調査<br>第2回新型コロナウイルス感染拡大の高知県内企業への影響調査      |                              |
| 37 | 調査 第150回 高知県内企業の景況調査                       |                              |
| 47 | 経済動向                                       |                              |
| 48 | ……国内経済                                     |                              |
| 50 | ……四国経済                                     |                              |
| 53 | ……高知経済                                     |                              |
|    | ……徳島経済                                     |                              |
| 58 | 経済日誌                                       |                              |
| 59 | …… (国内・海外)                                 |                              |
|    | …… (高知県内)                                  |                              |



# 新年を迎えて

株式会社 四国銀行  
頭 取 山元 文明

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は四国銀行グループに格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの猛威により世界経済・社会は大打撃を受け、わが国の経済においても、事業活動に深刻な影響が及びました。多くの事業者は事業の見直しを余儀なくされ、2008年のリーマンショック以来の大幅なマイナス成長が予想されております。また、7年8カ月続いた安倍政権が菅政権へと引き継がれ、米中が対立する中で米大統領選挙が行われるなど、政治的に大きな出来事も起こりました。

社会面においても、東京オリンピック・パラリンピックの開催が一年延期され、地元四国でもよさこい祭りや阿波踊りが中止されるなど、多くのイベントや行事に影響が出ました。そのような状況のなか、JAXA（宇宙航空研究開発機構）の小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセルが帰還したことにより、太陽系の成り立ちや生命の起源に迫る情報に期待が集まるなど、未来に向けた明るい話題もありました。

四国地域におきましても、新型コロナウイルスの影響により経済面、社会面で厳しい状況が続いており、また、事業所や労働力人口の減少、中山間地域における過疎化、防災・減災に向けた社会インフラ整備などの課題も山積しており、地域の将来を見据えた対策の必要性に迫られております。

当行のお取引先でも、多くの事業者や個人のお客さまが困難に直面しました。こうした中、当行は金融面での支援を中心に、事業承継やビジネスマッチングなどのコンサルティング活動に積極的に取り組んでまいりました。新型コロナウイルスに収束の見通しが立たない中、今後もWITHコロナ、AFTERコロナを見据えたコンサルティング活動に注力するとともに、インターネット上の会員専用サイトを通じた販路拡大支援など、デジタルの力も活用してお客さまの新たなビジネス展開支援に取り組んでまいります。

また、昨年4月に四国アライアンス4行で設立した地域商社「Shikoku ブランド株式会社」を活用し、地域製品のブランディングによる付加価値の向上、四国島外への情報発信および販路開拓支援などにより、四国創生の実現に向けた取組みも加速させてまいります。

私ども四国銀行グループは、特長である「面倒見が良く、お客さまに寄り添い、家族のように接する」気質にコンサルティング力とデジタルの力を組み合わせながら、地域に必要な不可欠な金融機関として支持され続けるよう邁進してまいります。

本年が皆さまにとりまして良き年でありますよう、心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

企業訪問 トップに聞く

ひ じ ちょう もく  
**飛耳長目**

第43回

**株式会社ヒワサキ**

ひ わ さ き まもる  
代表取締役 **日和崎 守 氏**

(取引店：四国銀行本店営業部)

写真右：鏡川を臨む本社屋上にて



高知県高知市に本社を置く株式会社ヒワサキは、<sup>ひ わ さ き むねお</sup>日和崎棟男氏が昭和24（1949）年4月に個人創業しガソリンスタンドを開業した。その後昭和28（1953）年11月日和崎石油株式会社を設立した。同社のはじまりは自動車の石油エネルギーの供給からであるが、工場やビニールハウス加温などの産業エネルギー、快適に暮らすためのホームエネルギーやリフォーム、また近年は新たなチャレンジとして水産養殖業にも参入した。

同社は昭和24（1949）年の創業以来「地道に そして堅実に」という取り組み姿勢を大切に事業拡大を続けてきた。さらには社員自身にやりがい・働きがいを感じてもらいたい、お客様に喜んで頂きたい、地域社会に貢献したい、という想いを込めた経営理念を掲げている。石油やガス供給の総合エネルギー企業として、様々な工場や宿泊施設等をはじめとした工業用・船舶用・園芸用・個人ユーザー向けまで、幅広い販売網を持っている。そのような状況のなか新しい試みとして平成31（2019）年4月より四国電力と電力販売の代理店契約を四国電力の管轄内で初めて締結し、同社LPガス顧客に対し電力販売代理店として営業活動を開始した。また石油製品取扱企業でありながら平成13（2001）年より、新エネルギーの研究・開発などもいち早く手掛け、多角化経営を目指し日々経営努力を行っている。

今回その一端を担ってきた株式会社ヒワサキの四代目社長である日和崎 守氏に同社の創業からの歩みや、経営上のこだわり、今後の事業展望等についてお話を伺った。

## 出発は自動車の石油エネルギー供給

### ——創業はいつですか。

**社長：**創業は昭和24（1949）年4月です。昨年度が創業から70周年の節目を迎えた年でした。始まりは祖父である日和崎棟男が個人商店として帯屋町で始めたガソリンスタンドからでした。



▲ インタビュー風景

### ——事業内容について、教えてください。

**社長：**事業内容は、主に石油事業とLPガス事業の卸売りと小売りとりフォーム事業です。そして近年新たなチャレンジとして電気の代理販売・水産養殖事業・都市ガスのサービスショップ事業にも参入しました。

### ——まず、石油関連事業について、教えてください。

**社長：**弊社の直営のガソリンスタンドは、高知県で10店舗・大阪府で2店舗運営しています。ここでは燃料供給をはじめ、自動車のメンテナンスや洗車などのサービスも提供しています。また様々な工場やビニールハウス・病院・宿泊施設などの大きな熱需要があるところへの重油や軽油といった産業用への燃料供給も行っています。

燃料として使用しない燃やさない石油製品として、潤滑油の販売や入れ替え作業等も県内外で行っています。潤滑油とは機械を滑らかに正しく作動させる油で、身近なものでは自動車用のエンジンオイルが挙げられます。他にも金属加工を行う現場で切断する際に滑らかに切断しながら熱を取り除くなど、あらゆる用途に合わせた沢山の種

類がございます。そのなかでも水力発電所のタービンオイルの交換は当社の強みとしている分野の一つで、四国以外でも関西・北陸・九州などの遠方でも交換作業を行っています。



▲ 石油関連事業 第三油槽所内のタンク

## ガス分野で新たな進出

### ——次に、ガス関連事業について、教えてください。

**社長：**高知県下の5拠点からプロパンやブタンといったLPガスの燃料供給や、ガスを使用するため機器の販売、保安調査点検・メンテナンス・ガス設備工事を行っています。

産業用では石油事業と同じく、高知県内外で熱需要の必要な施設などへLPガスの供給をしています。また多くのタクシーはガソリンではなくLPガスを燃料に走行しており、タクシーをはじめとするLPガス自動車に燃料供給を行うLPガススタンドも高知県で2店舗運営しています。

家庭用では、キッチンコンロ、お湯を沸かす給湯器、ファンヒーター、床暖房、浴室乾燥機など様々な機器があり、LPガスの供給と共に販売・点検・修理・設置工事などが主たる業務になります。ところで近年お客様に大変喜ばれているガス機器は家庭用の衣類乾燥機です。ガスは熱を作り出すのに非常に効率的で、短時間で衣類がフワフワに乾燥します。それ故に主婦の皆様に大人気です。

また令和2（2020）年9月からは、都市ガスを供給している四国ガス様の四国ガスショップとしての運営を新たに始めました。その業務内容は、機器販売・故障修理、ガス設備工事と元々弊社のLPガス事業と共通点も多く、今後更なる相乗効果で業務の効率化が図れると期待している分野です。



▲ ガス事業 高知基地

—— 家庭用でオール電化が普及してきましたが、自然災害による停電も考えられます。そういった部分で、ガスも見直されているのではないですか。

社長：そのような災害時のエネルギーとしてプロパンガスが全国的に見直されているのは確かです。プロパンガスは容器に詰めたエネルギーを、トラック等で運ぶという非常にアナログなエネルギーですが、それ故にいざという時には一番スピーディーに運び使用する事が可能です。震災時をはじめ様々な全国各地での災害時に、炊き出しによる温かい食事の提供や仮設のお風呂の設置が度々報道されます。その燃料こそ可搬性に優れたプロパンガスです。それ故にプロパンガスを普段使用しながら、いざという時の為にご家庭や様々な公共施設などでガス発電機を設置する事例も全国的に増えてきています。

オール電化も経済的には当然優れていますが、

最近ではガスと電気双方の強みを生かしたエネルギー効率の非常に良いハイブリッド給湯器という商品もあります。ガス機器も進化し続けています。

—— リフォーム事業はどういう経緯でスタートしたのですか。

社長：リフォーム事業はガスを利用していただいている年配のお客様のご家庭に弊社の社員が訪問した際に、腰の具合が悪く壁伝いに廊下を歩く姿を見て「手すりを付けられませんか」というアドバイスをしたことがきっかけです。元々ガス製品を使用しているキッチンや浴槽の住設商材の取り扱いもあり、お客様の快適な暮らしのお手伝いが弊社でもできるのではないかとこの思いでリフォーム事業が誕生しました。現在ではリフォーム全般で様々なニーズに対応可能です。

## 変化を先取りするための新しい水産事業分野への進出

—— 続いて、水産事業について、教えてください。

社長：魚類資源は今や天然物の枯渇阻止が叫ばれており「捕る漁業から育てる漁業へ」大きくシフトしているなか、安定した魚資源の供給と食品のトレーサビリティ<sup>1</sup>の重要性を意識し、養殖事業に参入しました。

様々なご縁やお力添えのお陰もあり、養殖事業をスタートする事ができました。弊社は犬伏町の柏島にすぐ近い「一切（いっさい）」という場所で真鯛の海面養殖を行っています。

先日食品関係のプロに試食してもらいましたが、弊社の鯛は鯛本来の味と香りがしっかりするし、油っぽくないと評価していただきました。生産現場のスタッフの創意工夫や餌の研究の成果と自信を持って事業を拡大していく所存です。

<sup>1</sup> トレーサビリティとは、商品の生産・流過程が追跡可能であること、及び生産・流通の履歴を正確に記録・管理するシステムのことをいう。

## — 新型コロナウイルス感染症の影響はありましたか。

社長：影響は当然あります。観光業界が疲弊したことにより観光バスやタクシーなどの県外からの自家用車などの車両の燃料需要は著しく減少し、宿泊施設や飲食店などの需要も激減しました。また製造業の生産停止などによる需要減少もあります。

弊社の石油やガスエネルギーは、お客様の縁の下での力持ちのようなお役に立てる商材と考えていましたが、一方でお客様が元気でないと我々自身も風邪をひくと痛感致しました。

また水産の分野でも、非常に大きな悪影響がありました。全国的にも飲食店などへの出荷が激減しています。それに加えて中国・韓国・台湾などの海外向けの出荷も止まりました。在庫としてストックできる石油製品などと違い、出荷できなければ餌代などの経費はかかり続けます。また需要が減り市場が供給過剰となると、出荷取引価格は大きく下がってきます。そのような状況の令和2（2020）年4月が弊社の真鯛の初出荷でした。最悪の状態からのスタートで当然大赤字ですが「後は這い上がるだけ」と現場の社員を鼓舞しています。

一方感染症対策としては、業務拠点の分散化などを実行しました。それにより業務の見直しを図り、リモートでの商談・会議や可能な業務をIT化するなど働き方を変えるきっかけにもなりました。その点は以前より効率的な業務改善が図れ好影響でした。



▲ 水産事業 作業風景

## パートナー企業との連携

### — その時代に対応した新しい分野に取り組み、事業が拡大していますね。

社長：弊社の経営ビジョンの一つには「現状に満足せず日々変化を先取りしよう」とあり、過去から様々な分野にチャレンジし続けてきました。しかしながら新事業としてスタートしたものの廃止した事業もあります。しかしネガティブに考えずそこで得た知識や技術は違う分野でも生かしていることで、結果的に様々な事業拡大に繋がっています。

また最近では様々な企業とアライアンスを組み、互いにプラスになるように事業拡大を考えています。

### — 都市ガス器具の取扱も増加するのでは。

社長：四国ガスショップの運営を開始したことから、都市ガスの機器販売には、今後注力する分野です。ガスの種類はLPガスとは異なりますが、同じガス業界であり取り扱い機器をはじめ業務内容が似通っている事が非常に多いです。それ故に新規事業とはいえ、過去からの経験も生かせる点が多々あります。弊社が目指すべきは、都市ガスもLPガスも1人のスタッフが両方扱える他社にない合理化を図ることです。弊社の高知市内でのプロパンガスを利用するお客様は非常に多く、また都市ガスを利用するお客様も高知市内に集中しています。現在はプロパンガスのスタッフと都市ガスのスタッフが同じエリアで重複して営業活動をしています。個々のスキルを上げ、プロパンガスのお客様も都市ガスのお客様もどちらにも対応できるスタッフを育てることで他社に無い効率化を図ることが可能となり、その上でお客様に対するサービスの向上とLPガス・都市ガス双方の機器の提案活動を強化していきます。

### — 四国電力の電力販売の代行を行っていますね。

社長：弊社は四国電力様の電気の代理販売を、四国電力様の管轄内で初めて開始しました。私は弊

社一社が何もかも新たに取り組み、何でも成功できる時代では無いと考えています。様々なパートナーと協力し合い、方向性や考え方の合う企業とアライアンスを組む。そして互いに相乗効果を生み出す。そのような考え方が必要と思っています。トヨタ自動車とNTTやソフトバンクが提携したといった記事を見ました。大手企業でさえ垣根を越えたアライアンスを組んでいます。弊社は特殊な技術を持ち合わせている訳でもなく、特許を取った商品を販売している訳ではありません。潤滑油やガス機器などの製品や商品で差別化できるものもありますが、石油やLP ガス自体の性能や品質はあまり他社のそれと変わりはありません。しかしお客様に「ヒワサキで良かった」と感じて頂ける価値の有るサービスや有益な商品を提供し続けるためにも、弊社に持ち合わせていない商品を提供できる他業種とアライアンスを組みサービスを充実させたい。それが結果的にお客さまにも、提携先にも互いにメリットを見出せることにつながるのではないかと考えていました。その想いを四国電力の皆様にも共感して頂き代理販売店として認めて頂きました。

電力の自由化が始まり新電力会社とアライアンスを組むべきかと考えた時期もありました。しかし次第に、地元の電力会社と組みたいという想いが強くなってきました。四国電力様の本社は高松ですが、よさこい祭りへの参加や清掃活動・学校への出前授業など高知でも様々なCSR活動を行っている企業です。今後ビジネス以外でも何かしらの地域貢献を共にできないかと考えています。

## 南海トラフ大震災への備え

—— 災害対応型給油所について、教えてください。

社長：自家発電機能を持ったガソリンスタンドです。ディーゼル発電機と太陽光発電システムに蓄電池を組み合わせた設備から、災害時などに停電

した場合でも最低限の計量器を動かすことのできるシステムを備えています。

弊社はこのシステムを導入したガソリンスタンドを高知県に6箇所持ち、それ以外の店舗にも、小型の発電機を準備していますので、特に緊急車両を優先して給油を行えます。

実はガソリンスタンドというのは、元々非常に災害に強い建造物です。ガソリンなどの危険物の取扱を行う場所故に、建物は強固で不燃な建造物です。実際に東日本大震災の際には、宮城県に同じ災害対応型の給油システムのガソリンスタンドがあり、地域の復興の拠点となり非常に役立たと現地の新聞の一面にも掲載されました。

近い将来発生するといわれている南海トラフ大震災の際には、災害対応しなければならない緊急車両を中心に給油していきたいと考えています。



▲ 災害対応型給油所

## 社員のCSR活動への意識の高さ

—— CSR活動にも積極的に取り組んでいますね。

社長：社長や役員主導で「こういったCSR活動をやりましょう」と指示しているものばかりではありません。弊社の企業文化としてかねてから地域貢献活動、CSR活動にも取り組んでいこうという雰囲気があります。

災害発生時に役立つように各自治体にプロパンガスのポータブル発電機を寄贈するなどのCSR

活動も実施しました。それ以上に私が一番に誇りに思うことは、社員一人ひとりがプルタブやアルミ缶を継続して、集めてくれていることです。それらの持ち込み量に応じてポイントが貯まっていき、一定量が貯まれば車椅子に交換できる制度があります。弊社の持ち込みのペースだと車椅子の交換には2～3年に1回ですが、それには多くの社員とその家族が協力してくれています。交換した車椅子は社員の代表者が地元の福祉施設などに寄贈しており、届け先の施設の方々に直接感謝されることに「やってよかったな、やり続けなければいけないな」という気持ちになってくれるそうです。

お金をかけて寄付、寄贈することより地域の清掃活動への参加など、日頃から自分たちで出来ることを行い続ける意識の方が本当の価値があると考えています。

今後は水産事業のご縁で関わった「一切」という地域でもコロナウイルスの終息後には何かしらの地域貢献ができないかと社員の皆さんと考えていきたいです。



▲ CSR 活動 車椅子の寄贈の様子

## 三方よし

—— 経営理念や経営方針などがありましたら、教えてください。

社長：経営理念は「社員の為の企業であれ」「顧客に求め続けられる企業であれ」「真に社会に貢

献できる企業であれ」という3つを掲げています。「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の近江商人の「三方よし」の精神に通じる理念です。

ヒワサキで働くことで自身のやりがい・働きがいを感じ、お客様にも良いサービスや商品の提供を通じ存在意義を感じ、社会貢献を通じて人間としての成長を感じられる。そのような企業文化や風土を築いていきたいと考えています。

—— 社長のこだわりや想いは何かありますか。

社長：トップダウンで方向性を決めるのではなく、社員の一人ひとりから意見をどんどん出して皆で議論して方向性を決めていくボトムアップで経営をしていきたいと考えています。

確かに経済成長期の頃は、強烈な個性を持ったリーダーが、トップダウンで様々な事項を決定していくのはスピーディーで効率的だったと思います。ただそうすると社員は、考えることをしなくなります。働きがいや成長する楽しさを感じないまま、指示待ち人間となり言われたことしかできなくなる。それだと社長のスキル=会社でしかなく、組織としての発展は限られてくると考えます。そうではなくて、社員一人ひとりが活躍できる個性を生かすダイバーシティの考えが会社組織をより良くしていくのではないのでしょうか。その結果が社員一人ひとりのやりがいや働きがいに繋がり、様々なアイデアが生まれ、お客さまへ独自のサービスが提供できる組織へと成長していくと考えています。弊社を含め現在のガソリンスタンドの半分以上がENEOSの看板を掲げています。お客さまには「ENEOSに行くのではなく、ヒワサキに行く」と支持頂ける企業づくりに一丸となって取り組んでいきます。

—— 本日はありがとうございました。

(調査部長 西本治史)

## 会社概要

本社社屋



- 名 称 株式会社 ヒワサキ
- 創 業 昭和24（1949）年4月
- 設 立 昭和28（1953）年11月
- 本 社 〒780-0831 高知県高知市中の島2-75
- 支 店 等 ・東京支店 ・大阪支店
- 資 本 金 3,800万円
- 事業内容
  - ・石油関連事業
  - ・ガス関連事業
  - ・電力関連事業
  - ・リフォーム事業
  - ・水産養殖事業

## 四国銀行本店営業部 黒下常務取締役本店営業部長より一言

昨年度創業70周年を迎えられました株式会社ヒワサキ様は、当初個人創業のガソリンスタンドからスタートされ、現在は工場やビニールハウス加温用などの産業用エネルギー、快適に暮らすためのホームエネルギーを中心として、リフォーム事業、水産養殖事業など、時代の変化に合わせた事業の多角化を進めてこられ、高知県を代表する企業へと発展されています。



日和崎社長様とお話していると、さわやかで明るいお人柄と柔軟な発想に感心いたしますとともに、「社員のために」「お客様のために」「地域社会のために」という経営理念を土台として、次の時代を見据えた変化、進化していく組織を目指して挑戦されていることが感じられます。

これからも、エネルギー供給を主軸として、地域に貢献する企業へと一層の飛躍を遂げられることを心より祈念申し上げます。

弊行は、永きに亘りメインバンクとしてお取引を頂いています。これからも「真っ先に相談され、地域の発展に貢献する銀行」として、ともに前進してまいりたいと考えます。



# 2020年の経済動向、2021年の展望

日本銀行高知支店  
支店長 中山 智 裕

## 1. 2020年の経済動向

### (1) 日本経済

2020年のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、大きな振幅を伴いながら、総じて厳しい状態が続いた。

以下では、緊急事態宣言が解除された5月下旬までの時期とそれ以降の時期に分けて、同年におけるわが国経済の動向を概観する。

#### (年初～緊急事態宣言の解除)

新型コロナウイルス感染症は、2019年末に中国で確認された後、2020年入り後から、アジア、欧州、米国などで急速に拡大し、パンデミック（世界的な大流行）の状態に陥った。そのような状況下、幅広い国や地域において、外出・出入国制限や営業・生産活動の停止措置などの感染防止策がとられることとなった。

この間、わが国においても、全国的な感染拡大を受けて、国や地方自治体による各種の自粛要請が実施された。更に、4月上旬には、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出され、5月下旬に解除されるまでの間、社会・経済活動を大幅に制限する措置が講じられた。

そうした下、この期間におけるわが国の経済動向を振り返ってみると、年初時点では、2019年10月に実施された消費税率引き上げの影響が徐々に和らぐ中で、個人消費などに持ち直しの動きもみられていたが、その後、内外での新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、情勢は大きく変化し、景気は厳しさを増すこととなった。

とりわけ、春先以降は、①海外経済の落ち込みに伴う財輸出の減少、②インバウンド需要（サービス輸出）の蒸発的な減少、③外出自粛や営業制限などに伴う国内個人消費の減少、といった3つの経路を通じて総需要が大幅に減少し、わが国の

景気は、極めて厳しい状態に陥った。

このような状況を受けて、四半期ごとの国内総生産（実質 GDP）は、1-3月期、4-6月期と連続でマイナスとなり、前年10-12月期から3四半期連続でマイナス成長を余儀なくされた。特に、4-6月期は前期比▲8.3%となり、比較可能な1980年以降で最大のマイナスとなった。

この間、変動の目立った需要項目をみると、輸出に関しては、IT 関連はデータセンター向けやパソコン関連の堅調さに支えられて小幅な落ち込みに止まった一方、自動車関連が海外販売の急速な落ち込みを背景に大幅に減少したほか、設備投資関連も、世界的な投資の落ち込みや先送りを反映して、はっきりとした減少傾向が続いた。また、インバウンド需要と関係の深い海外からの入国者数は、2月以降、入国制限措置などの実施に伴い大幅に減少した。

個人消費についてみると、1～2月は、乗用車などの耐久財を中心に、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減などから緩やかに持ち直す動きがみられていたが、3月入り後、国内における感染症拡大の影響を受けて減少に転じた。更に、4月以降は、緊急事態宣言の発令の影響を受けて一段と減少した。こうした需要の減少はサービス消費で特に顕著であり、外食や宿泊などの選択的支出が大幅に落ち込んだ。

設備投資は、輸出の急速な落ち込みや先行き不透明感の高まりから機械投資が弱めの動きに転じたことを主因に、全体では、それまでの増加の動きが頭打ちになった後、横這い圏内で推移した。

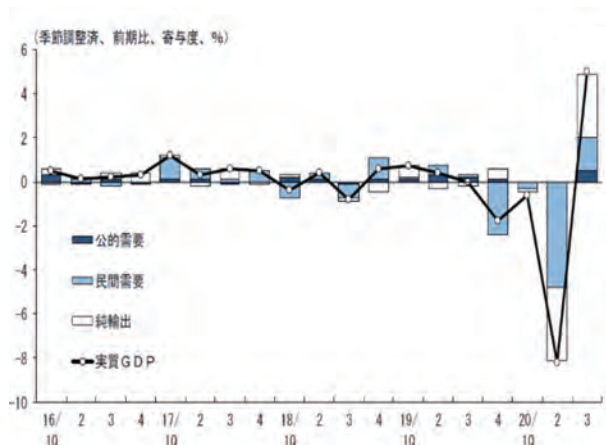
この間、雇用・所得環境では、総需要の減少を背景に、弱い動きがみられるようになった。雇用面では、労働需要が大きく減退し、失業率や有効求人倍率が悪化したほか、就業者数も減少に転じた。賃金面でも、一人当たり名目賃金の前年比がマイナスに転じるなど、下押し圧力が強まった。

## (緊急事態宣言の解除～)

内外では、厳格な感染防止措置が緩和・解除されたことを受けて、社会・経済活動を再開する動きが徐々に広がってきた。この間、わが国では、緊急事態宣言が解除された後、7月入り後から秋口にかけて感染が再び拡大する事態が発生したが、感染防止と社会・経済活動の両立が意識される下、営業時間短縮などの自粛要請は限られた範囲に止まった。もっとも、10月以降は、内外で感染が再拡大してきたことを受けて、感染防止策が改めて強化されてきた。わが国においては、11月以降の感染者数の大幅増を受けて、外出自粛や営業時間短縮などを要請する措置が各地で実施された。また、Go To トラベルキャンペーンについては、11月下旬より一部の地域で停止などの措置が講じられたほか、年末年始の一定期間は全国一斉に停止されることとなった。

このような感染動向の下、わが国の景気は、内外における経済活動の再開を受けて持ち直してきた(図表1)。もっとも、感染症の影響が根強い中、その回復テンポは緩やかであった。7-9月期の実質 GDP 成長率は+5.3%とプラスに転じたが、4-6月期の落込み幅の6割程度の回復に止まった。また、業種などによって、回復度合いに大きなバラツキがみられた。更に、年末にかけては、感染の再拡大を受けて、景気への影響に一層の注意を必要とする状況となった。

(図表1) わが国の実質GDPの推移

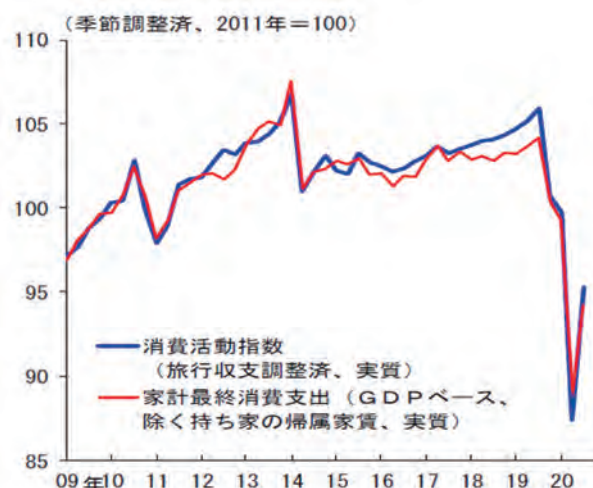


(出所) 内閣府

主な内訳をみると、輸出に関しては、海外経済が大きく落ち込んだ状態から持ち直してきたことを受けて回復の動きが続き、景気全体の持ち直しを牽引してきた。財別にみると、自動車関連が欧米や中国での販売回復を受けて大幅に持ち直してきたほか、IT 関連でも、データセンター向けやパソコン関連の堅調さに自動車向けの持ち直しも加わり、全体として持ち直している。また、設備投資関連も、生産が世界的に持ち直してきたことを受けて、下げ止まってきている。一方、海外からの入国者数は、入国制限措置などの解除が一部に制限される下で、回復の動きに乏しい状態が続いてきた。

個人消費は、全体としては、徐々に持ち直してきた(図表2)。このうち、財消費に関しては、持ち直しの動きが堅調であり、感染拡大前を上回る水準にまで戻ってきた。いわゆる「巣ごもり」消費が下支えする中、耐久財の増加が牽引してきた。一方、サービス消費についても持ち直しの動きがみられてきたが、夏場に感染者が増加した局面で足踏みがみられたほか、年末にかけては感染再拡大の影響を受けるなど、改善ペースは緩やかであり、相対的に遅れが目立った。

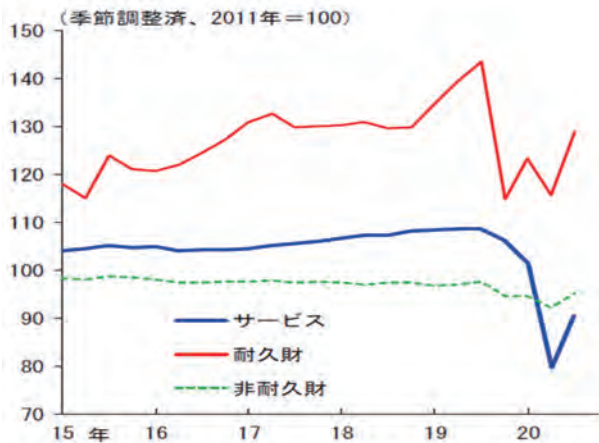
(図表2-1) 国内個人消費の動向



(注) 消費活動指数(旅行収支調整済)は、除くインバウンド消費・含むアウトバウンド消費(日本銀行スタッフ算出)。

(出所) 日本銀行、内閣府等

(図表2-2) 国内個人消費動向の内訳



(出所) 日本銀行

設備投資は、収益悪化や先行きの不透明感などを背景に、減少に転じた（図表3）。特に、建設投資については、サービス業における新規出店の抑制などを主因に減少が目立った。

(図表3) 国内設備投資の動向



(注) 1. 建設工事出来高は、建設工事費デフレーターで実質化。

2. 2020/4Qは、10月の値。

(出所) 内閣府、経済産業省、国土交通省

この間、雇用・所得環境では、弱い動きが続いた。雇用面では、失業率や就業者数に改善の動きがみられなかったほか、有効求人倍率は低下傾向が続いた。また、賃金面でも、賞与を中心に下押し圧力の強い状態が続いた。もっとも、各種の制度支援が機能する下で、大規模な雇用調整が回避されるなど、こうした弱い動きは、経済の大幅な落ち込みに比べると相対的に低く抑えられてきた。

## (2) 高知県経済

### (景気動向・・・秋以降持ち直し)

2020年の高知県経済を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける下で、財輸出やインバウンド需要の動向を除くと、全国と概ね同じ動きで推移した（図表4）。

すなわち、3月頃より感染症の影響が個人消費や観光でみられ始め、4月には、緊急事態宣言の発令を受けて、経済活動が大幅に制約された結果、県内の景気は悪化に転じた。その後、夏場にかけては、経済活動が再開される下で、一部に持ち直しの動きはみられたものの、全体としては勢いや持続性に乏しく、明確な景気回復の実感を得にくい局面が続いた。

もっとも、秋以降は、財消費において、家電や乗用車といった耐久財が堅調な伸びをみせるなど、消費マインドの落ち着きなどを反映した回復傾向が明確になってきた。また、観光需要についても、Go To トラベルキャンペーンの押し上げ効果などを受けて、持ち直しの動きを辿ってきた。そうした下、県内の景気は、個人消費や観光需要の回復が牽引する形で持ち直しに転じてきた。

県内企業の業況感もこのような景気動向を反映し、春から夏場にかけて大幅に落ち込んだ後、秋以降は明確な改善がみられた（図表5）。

(図表4-1) 県内の景気判断の推移（総括）

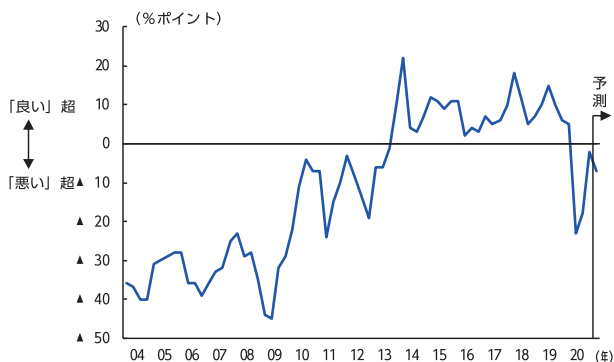
| 総括判断 |                                                   |
|------|---------------------------------------------------|
| 20/1 | 一部に弱めの動きがみられるものの、回復している                           |
| 2    | ↓                                                 |
| 3    |                                                   |
| 4    |                                                   |
| 5    | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、一段と弱い動きとなっている                 |
| 6    | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、弱い動きが続いている                    |
| 7    | ↓                                                 |
| 8    |                                                   |
| 9    |                                                   |
| 10   | 新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きが続いている                      |
| 11   | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、持ち直しつつある                   |
| 12   | 持ち直しの動きが続いているが、新型コロナウイルス感染症にかかる感染再拡大の影響が一部でみられている |

(図表4-2) 県内の景気判断の推移 (内訳)

|      | 個人消費                                                             | 観光                                                 | 設備投資                                  |
|------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 20/1 | 消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているものの、基調としては持ち直している                      | 横ばい圏内で推移している                                       | 高めの水準ながら、足もとにかけては弱めの動きがみられている         |
| 2    | 消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているものの、基調としては持ち直している                      |                                                    |                                       |
| 3    | 一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては持ち直している                                   | 新型コロナウイルス感染症の影響から足もと弱めの動きがみられている                   |                                       |
| 4    | 新型コロナウイルス感染症の影響から、弱めの動きとなっている                                    | 新型コロナウイルス感染症の影響から、減少している                           | 横ばい圏内の動きとなっている                        |
| 5    | 新型コロナウイルス感染症の影響から、減少している                                         | 新型コロナウイルス感染症の影響から、大幅に減少している                        |                                       |
| 6    |                                                                  |                                                    |                                       |
| 7    | 一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から減少している                       |                                                    | 横ばい圏内で推移しているものの、非製造業を中心に慎重化の動きがみられている |
| 8    | 持ち直しや下げ止まりの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きが続いている               | 下げ止まりの兆しもみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きとなっている      |                                       |
| 9    | 持ち直しなどの動きが引き続きみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きが続いている               | 底打ち感がみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きが続いている          |                                       |
| 10   | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、財消費を中心に徐々に持ち直しつつある                        | 基調として弱い動きが続いている                                    | 弱めの動きがみられている                          |
| 11   | 財消費を中心に徐々に持ち直している                                                | 持ち直しつつある                                           | 弱めの動きが続いている                           |
| 12   | 財消費を中心に徐々に持ち直す動きが続いているが、新型コロナウイルス感染症にかかる感染再拡大の影響がサービス消費で一部みられている | 徐々に持ち直す動きが続いているが、新型コロナウイルス感染症にかかる感染再拡大の影響が一部みられている |                                       |

(出所) 日本銀行高知支店

(図表5) 県内企業の業況判断 (日銀短観)



(出所) 日本銀行高知支店

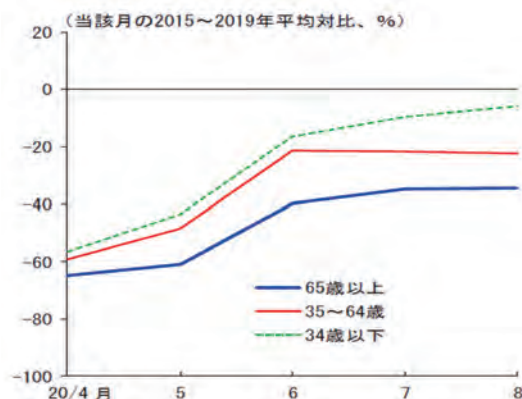
ただし、11月下旬以降は、先に述べたとおり、感染が再拡大する中で、全国では、Go To トラベルキャンペーンの運用を制限・停止する措置がとられた。また、県内では、飲食店などに営業時間の短縮を要請する措置が実施された。そうした下、当県では、宴会や宿泊のキャンセルがみられるなど、景気の先行きに不透明感を抱えつつ年末を迎えることとなった。

(サービス消費&lt;観光以外&gt;・・・低水準続く)

個人消費のうち、観光以外のサービス消費に関しては、4～5月に大きく落ち込んだ後、感染症への根強い警戒感を背景に低水準で推移した。そうした下、年末にかけては、感染再拡大の影響により、宴会のキャンセルがみられるなど、酒類を伴う飲食への需要が更にやや弱めの動きとなった。

この点に関して、サービス消費に対する足もとの支出スタンスを年齢別にみると、高齢世帯では、他の年齢層よりも落ち込みが大きく、その後の回復ペースも緩慢になっている (図表6)。高齢化が相対的に進んでいる当県では、全国平均と比べて、こうした高齢層の消極的な消費スタンスがサービス消費全体を下押しする方向により強く働いた可能性もある。

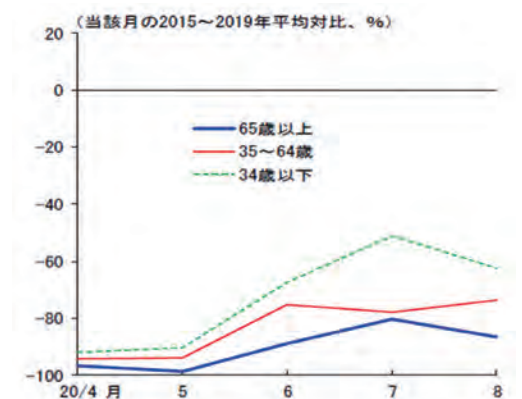
(図表6-1) 年代別のサービス消費動向 (外食)



(注) 二人以上の世帯ベース (世帯主の年齢階級別)。学校給食を除く。

(出所) 総務省

(図表6-2) 年代別のサービス消費動向 (旅行)



(注) 二人以上の世帯ベース (世帯主の年齢階級別)。宿泊料とパック旅行費の合計。

(出所) 総務省

### （雇用・所得・・・大幅な悪化は回避）

この間、県内の雇用・所得環境は、全国と同様、需要減少の影響から下押し圧力のかかる弱い動きが春以降続いた。もっとも、そうした下においても雇用は比較的底堅く維持され、大きく悪化する事態は回避されてきた。

雇用動向に関して、県内では、雇用を調整する動きはいまのところ目立っていない。むしろ、企業の間では、当県の趨勢的な人口減の進行を見越して、雇用をできる限り維持していこうとするスタンスが現時点では根強いように窺われる。そうした下、求人・求職バランスについても、4～5月に大幅に悪化した後は底堅く推移してきた（図表7）。

賃金面をみると、一人当たり名目賃金は、残業時間の減少や賞与の引下げを主因に前年比マイナスの状態が続いてきたが、これまでのところ、所定内給与を削減する動きが県内企業の間で広がる状況には至っていない（図表8）。

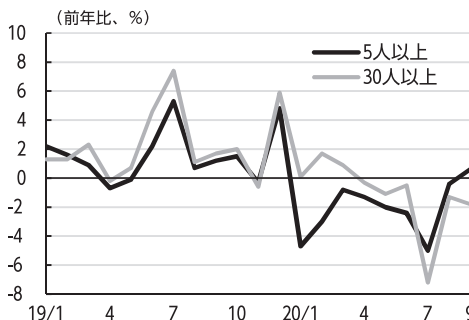
（図表7）県内の有効求人倍率の推移



（注）直近は20/10月。

（出所）厚生労働省「一般職業紹介状況」

（図表8）県内の一人当たり名目賃金の推移



（注）1. 共通事業所（前年同月及び当月ともに集計対象となった調査対象事業所）の現金給与総額。

2. 20/9月は速報値。

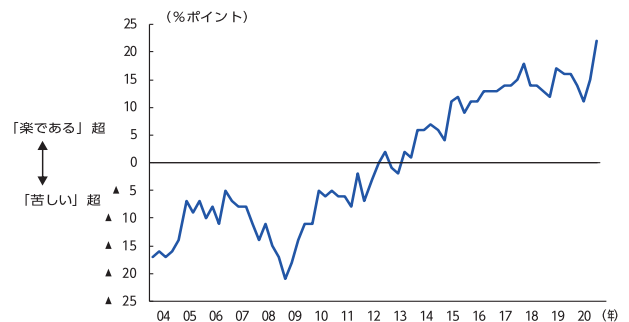
（出所）高知県「毎月勤労統計調査地方調査」

### （企業の資金繰り・・・各種の制度支援が下支え）

県内企業の資金繰りは、売上・収益の悪化を受けて厳しい状況に直面した。もっとも、国や県などによる各種の支援策の奏効もあり、これまでのところ、資金繰りの逼迫が広範に発生する事態は回避されている（図表9、10、11）。

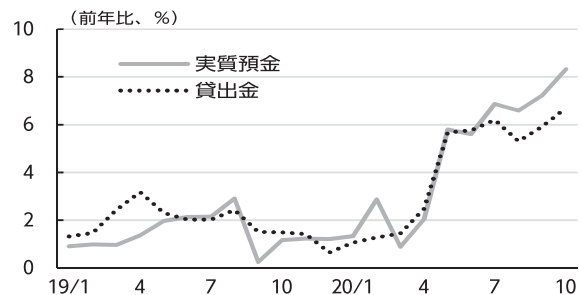
企業の資金繰りがこのように総体的に落ち着いている状況は、先に述べた、雇用・所得環境の底堅さや消費マインドの落ち着きなどをもたらしてきた要因の一つになっていると考えられる。

（図表9）県内企業の資金繰り判断（日銀短観）



（出所）日本銀行高知支店

（図表10）県内の預金・貸出金残高の推移



（注）国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）、信用金庫および信用組合の高知県内店舗ベース。実質預金は、預金から切手手形を控除したもの。

（出所）日本銀行高知支店

（図表11）県内倒産件数の推移



（注）負債額1,000万円以上。

（出所）東京商工リサーチ

## 2. 2021年の展望

### (中心的な見通し)

わが国、高知県ともに、2021年の経済動向は、新型コロナウイルス感染症の帰趨によって大きく変わり得るが、現状、この点については、依然として不確実性が高い。すなわち、感染症に有効な治療薬やワクチンがいつ・どのような形で抑止効果を発揮するのかといった点や、それまでの間、感染症の流行がどのように展開していくのかといった点などが不透明であり、こうした状況が先行きの経済動向に関する見通しを非常に難しくしている。

そうした下、仮に感染症の影響が収束に向けて先行き徐々に和らいでいくことを前提とすると、①当面の間は、感染リスクへの警戒感が続く中で緩やかなペースを余儀なくされるが、資金繰り支援をはじめとする各種政策などの支えも受けつつ、景気は持ち直し続ける、②その後は、内外において経済活動への制約が更に緩和されていくにつれて、輸出や個人消費がよりしっかりとした回復基調を辿っていく、③そのような状況において、企業収益の改善に伴い、設備投資が増加基調に復していくほか、雇用・所得環境も改善していく、といった見通しが中心となる (図表12)。

(図表12) 主要国・地域の経済成長率の見通し

|         | 2018年 | 2019年 | 2020年<br>[見通し] | 2021年<br>[見通し] |
|---------|-------|-------|----------------|----------------|
| 世界全体    | 3.6   | 2.8   | -4.4           | 5.2            |
| 先進国     | 2.2   | 1.7   | -5.8           | 3.9            |
| 米国      | 2.9   | 2.2   | -4.3           | 3.1            |
| ユーロ圏    | 1.9   | 1.3   | -8.3           | 5.2            |
| 英国      | 1.3   | 1.5   | -9.8           | 5.9            |
| 日本      | 0.3   | 0.7   | -5.3           | 2.3            |
| 新興国・途上国 | 4.5   | 3.7   | -3.3           | 6.0            |
| 中国      | 6.7   | 6.1   | 1.9            | 8.2            |
| インド     | 6.1   | 4.2   | -10.3          | 8.8            |
| ラ米      | 1.1   | 0.0   | -8.1           | 3.6            |

(出所) 国際通貨基金 (IMF) ・ 2020/10月見通し

### (リスク要因)

一方、感染症の影響が収束するまでの間は、以下の3つの下振れリスクに注意を要する。

第1は、感染症拡大のもたらすマイナスの影響の大きさである。特に、極めて厳格な感染防止措置が実施される場合や、人々が感染への警戒から行動を極端に自粛する場合には、経済活動が大幅に下押しされる可能性がある。また、そのような下押し圧力が急激に強まることがあると、企業の資金繰りや雇用・所得環境が大幅に悪化し、経済が更に深みに嵌っていくリスクが高まる可能性もある。

第2は、企業や家計の中長期的な成長期待の低下である。感染症による経済への大幅な下押しにより、企業や家計の中長期的な成長期待が低下する場合には、その後の支出意欲が高まりにくくなり、経済の回復の勢いを弱める方向に作用するリスクがある。例えば、感染症の収束に長い時間がかかると見込まれる場合に、企業の間で、「withコロナ下で対応できる水準」まで雇用者の数を絞り込む動きが広がり、雇用・所得環境の悪化や消費マインドの低下を通じて、消費需要に下押し圧力をかける可能性がある。

第3は、金融システムの安定性の低下である。現在、県内を含め、わが国の金融機関は資本・流動性の両面で相応に強いストレス耐性を備えている。そうした下、金融システムは全体として安定性を維持しており、金融仲介機能は円滑に発揮されている。ただし、感染症の影響が想定以上に大きくなった場合には、実体経済の悪化が金融システムの安定性に影響を及ぼし、それが実体経済への更なる下押し圧力として作用するリスクがある。

以上のとおり、わが国および高知県における本年の経済動向に関しては、現状、新型コロナウイルス感染症の帰趨やその影響が不透明な中で、不確実性が極めて高く、再び下方に向かうリスクにも相応に注意を要すると思われる。

日本銀行高知支店では、このような不確実性やリスク要因に十分目配りしつつ、本年も当県の経済情勢を引き続き丁寧に調査・分析していきたいと考えている。

以 上

# 2020年版「高知県の幸福度」

## ～高知県民総幸福度（GKH）指標～

土佐経済同友会 GKH委員会委員長 刈谷 敏久

### はじめに

「あなたは高知で暮らして幸せだと感じますか？」こう聞かれたとき、多くの県民が「まあ幸せだ」「高知が好きだ」と答える。

しかし、2011年に衝撃的な発表があった。PHP出版「日本で一番幸せな県民」（法政大学教授・坂本光司著）において高知県は何と47都道府県中、46位にランキングされた。その後も、東洋経済新報社「都道府県幸福度ランキング」（日本総合研究所編、隔年発刊）の2016年度版、2018年度版、2020年度版において3回連続最下位にランキングされた。

では、高知県民は本当に不幸せなのか、いいところがあっても結局、経済指標が悪ければ不幸せなのか。「日本一輝ける田舎」でいいのではないか。高知県で暮らす生活者の実感とランキングの乖離は何なんだろうか、という素朴な疑問から土佐経済同友会が行き着いたのが「高知県民総幸福度（Gross Kochi Happiness 〈GKH〉）指標」である。

### 土佐経済同友会「GKH委員会」の基本方針

高知県の人口が減少する中、高知県から都市部に転出する若者も多く、高知県で働く者の増加は重要な課題となっており、2020年2月には、高知県産業振興計画の目指す将来像「地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」をGKHの要素を活用して指標を見える化し、その向上に取り組むことを提言した。

2020年、日本各地で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症により、特に都会では、テレワーク、リモートワークを活用した新たな働き方が、数多く行われるようになってきた。

このような働き方では、地方の距離的デメリットも絶対的に不利な条件ではなく、逆に都会での混雑した日常から離れた生活として、移住へのインセンティブにもなると考える。

2020年11月に行われた（公社）経済同友会地方創生委員会と土佐経済同友会との意見交換会においては、高知県でのワーケーションについて、高い評価をもらい、さらに会員企業によるサテライトオフィスなどの試行を行う可能性があるとの意見が出された。このサテライトオフィスが可能となれば、移住促進のみならず、高知県に働く場が創出されることも予想される。

今後のテレワーク、リモートワークの時代、都市部を離れ、地方に移住する方々の移住地を選択する要素として、その地で生活することへの安心感や満足感が重要になると考える。その時に働く者や家族の選択の要素として、地域、仲間、自然等々、貨幣価値等の尺度では測れないものも数多くあると考える。これらや経済的要素などの集大成が「幸福度」につながると考えている。

SDGs第8番目の「働きがいも経済成長も」に着眼して、フューチャーデザインの考え方も取り入れ、新たな働き方の中、持続可能性ある高知県の成長のため、働く者の幸福度及び今後経済の担い手となる子ども達の幸福度が向上できるよう、高知大学と共同研究を行い、それぞれの幸福度指標をみつけていきたい。

# 2020年 第5回GKHアンケート調査結果概要

## 第5回調査の目的

いま、幸福というテーマが世界でも重要な課題の一つとなっている。GDPや経済成長など物質的豊かさという従来の価値基準だけでは、真の幸せは得られないという考え方が浸透し始めているからである。

海外では、ブータンの他、フランスやイタリアなどでも本格的な幸福度の研究が始まっており、国内においても東京都荒川区や熊本県など多くの自治体が住民の幸福度を指標で表し、政策に反映する取り組みを行っている。

また、2015年の国連サミットにおいて採択された「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための17の国際目標（SDGs）」においても人々の幸福度の向上と経済のバランスが重要であると述べられている。

我々は「高知県の幸福度を考える県民会議（GKH県民会議）」と共に、高知県独自の豊かさの指標「高知県民総幸福度（Gross Kochi Happiness（GKH））」の指標づくりを進め、過去3回の県民アンケートを実施するとともに、広範な官民の参画のもとにシンポジウムを開催するなどして高知県

における幸福度指標の在り方を議論し、2016年10月には「高知県の幸福度指標（GKH）」を決定し、公表した。

昨年(2019年)には、3年振りに高知県民の幸福度(GKH)に関するアンケート調査を実施し、引き続き高知県民の幸福度が高いことを実感した。本年(2020年)については、新型コロナウイルスの影響により、一時は調査を見合わせることも検討した。しかし、こうした状況であればなお、みんなの率直な気持ちを聞いたうえで、各方面への提言などを通じ、高知県の幸福度を更に向上させる手伝いができると考え、昨年同様、アンケート調査を実施することとした。

本県は、一人当たりの県民所得が全国でも最下位クラスと、客観データから見る限りは豊かとは言えないが、自然・食の恵みを感じながら、人々は明るく暮らしているというのが、多くの県民が持っている実感なのではないか。高知県民総幸福度（GKH）とは、そうした他のどこにもない高知らしい豊かさを「見える化」するために、高知での暮らしに対する県民のみんなの主観的な評価・充足感を把握し、指標化していこうという試みである。

### 【調査概要】

- ・調査実施期間：2020年7月1日～7月21日
- ・調査対象：満15歳以上の高知県在住者
- ・回答者数：4,016（県外在住者の回答を除く）
- ・調査方法：質問票によるアンケート調査。人生満足度、健康・人とのつながり、子育て・教育、働くこと、生活環境、文化・地域、安心・安全、お住いの都道府県の8分野について、各質問項目の実感度を質問した。

### ※幸福度の尺度について

- ・主観幸福度（SWB）は10段階の尺度を用いて調査。10段階のうち7～10を「幸福」、4～6を「普通」、1～3を「不幸」に分類した3段階の評価も実施。「10段階尺度での幸福度」の質問に回答していない人は、主観幸福度および他の項目とのクロス集計の対象から除いている。
- ・人生満足度、5項目の質問に各7段階の回答を1点から7点までの点数化し、その総和の最大を35点、最小を5点とし、「不明・無回答」を有効回答数から除いている。
- ・各分野の質問に対する幸福度1から5までの回答について、実感度1を1点、2を2点、3を3点、4を4点、5を5点とし、「わからない」「無回答」を有効回答数から除いている。

## アンケート設問項目

最初にあなたは普段どの程度幸福だと感じていますか？

|       |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |       |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-------|
| 非常に不幸 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 非常に幸福 |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-------|

### 人生満足度

1. ほとんどの面で、私の人生は私の理想に近い。
2. 私の人生は、とても素晴らしい状態だ。
3. 私は自分の人生に満足している。
4. 私はこれまで、自分の人生に求める大切なものを得てきた。
5. もう一度人生をやり直せるとしても、ほとんど何も変えないだろう。

### I 健康や人とのつながり

1. いざという時に頼れる人が身近にいると感じますか。
2. 家族とのだんらんがあると感じますか。
3. 心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか。
4. あなたは、家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があったり、自分の居場所があったりと感じますか。
5. 身近に信頼できる病院があり、気軽に相談できると感じますか。

### II 子育て・教育

1. 子どもたちが安心して生活できていると感じますか（通学、遊びの場、学校を含む）。
2. お住まいの地域では子育ての環境が充実していると感じますか。
3. 子どもたちが、社会で生活してゆく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを総合的に身に付けていると感じますか。

### III 働くこと

1. あなたは、経済的に困らない生活を送ることができていると感じますか。
2. あなたの生活水準はどの程度だと感じていますか（とても貧しい1→最も豊か5）。
3. あなたは、精神的に余裕のある生活を送ることができていると感じますか。
4. 仕事（専業主婦にとっての家事を含む）と生活とのバランスが取れていると感じますか。
5. 仕事（専業主婦にとっての家事を含む）にやりがいや充実感を感じますか。
6. 通勤、通学は苦にならない程度の時間だと感じますか。
7. 会社でのコミュニケーション、チームワークが良いと感じますか。
8. 所属している組織に愛着がありますか。
9. 所属している組織に憧れる先輩、上司がどのくらいいますか（全くいない1→全員そうだ5）。
10. 所属している組織には多様性（性別、年齢、障がい者、外国人などで障壁等が無いこと）を受け入れる風土あると感じますか。

### IV 生活環境

1. 自由になる時間が充分とれていると感じますか。
2. お住まいの地域は暮らしやすい生活環境であると感じますか。
3. お住まいの地域では、生活する上での不快さ（悪臭、騒音、ポイ捨て、ゴミ屋敷などを含む）が無いと感じますか。
4. お住まいの地域では、困っている人を見かけたときに、声をかけたり協力したりする雰囲気があると感じますか。

### V 文化や地域

1. 地域に興味・関心がある活動や行事があると感じますか。
2. お住まいの地域に親身になって相談にのってくれる人がいると感じますか。
3. お住まいの地域に愛着や誇りを感じますか。
4. あなたは、自分の余暇の過ごし方に満足していると感じますか。
5. お住まいの地域は居心地が良いですか。

### VI 安心や安全

1. 日常生活において、治安が守られていると感じますか。
2. 災害（地震、火災、風水害）に対する備えは充分だと感じますか。
3. ウイルス感染症に対する備えは十分だと感じますか。
4. 日頃から近隣の方と交流ができていると感じますか。
5. 昼夜を問わず女性が安心して外出できると感じますか。

### VII お住まいの都道府県

1. 身近に（気軽に）自然に接する場所（海、川、山）があると感じますか。
2. 仕事や学校以外での知人や仲間がいると感じますか。
3. 他の都道府県から人が訪れたい魅力ある場所だと感じますか。
4. あなたは（お住まいの都道府県）で暮らして幸せだと感じますか。
5. あなたは（お住まいの都道府県）を好きだと感じますか。

## 前回との変更点

- ・コロナ禍で、「新型コロナウイルス感染症に対する備えは充分だと感じますか」の質問項目を追加した。
- ・自由記述欄に、「新型コロナウイルスの影響について」を追加設定した。

## 御 礼

今回の高知県民総幸福度（GKH）アンケート調査にご協力いただきました県民の多くの皆様方に対し、心より御礼申し上げます。

## 1. 「幸福度」項目の結果分析

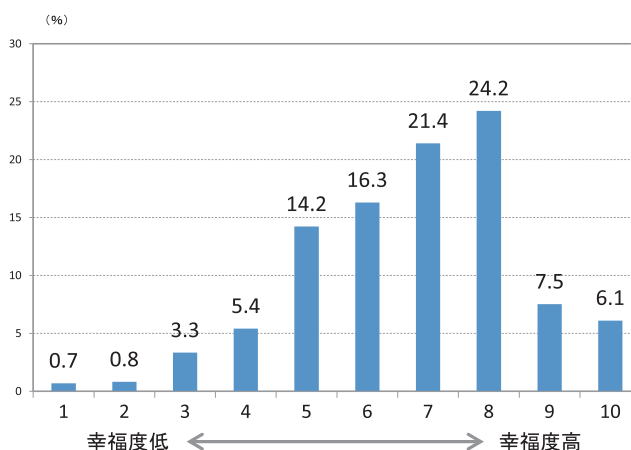
### （1）幸福度

#### ①10段階尺度による分析

全体の幸福度（普段どの程度幸福だと感じていますか？）について、平均値は6.75であった。回答者の75.5%が、10段階のうち上位5段階（6～10）の幸福度を感じていると回答した。前年度（6.66）と比べて0.09ポイント上昇した。

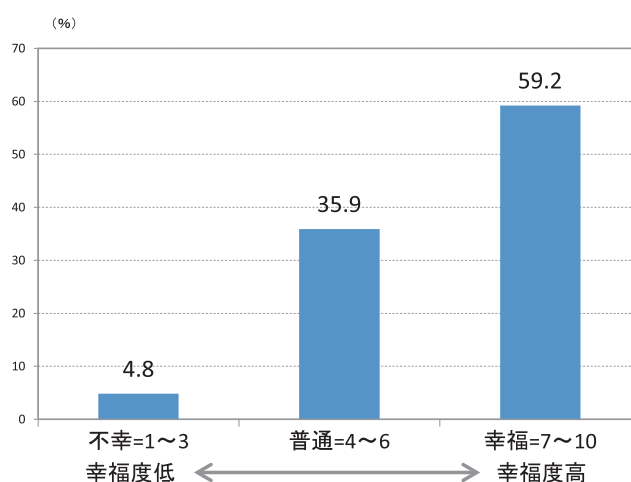
※参考：World Database of Happiness (WDH)  
によると日本の主観的幸福度の平均は6.1（2013年）

出典：R. Veenhoven, Happiness in Japan (JP), World Database of Happiness, Erasmus University Rotterdam, The Netherlands.  
Viewed on 2019-09-17 at worlddatabaseof-happiness.eur.nl.



#### ②3段階尺度による分析

全体の幸福度（10段階）のうち、7～10を「幸福」、4～6を「普通」、1～3を「不幸」に区分。回答者の59.2%が「幸福」（前年57.7%、1.5%上昇）、35.9%が「普通」（前年36.6%）、4.8%が「不幸」（前年5.7%）に分類された。

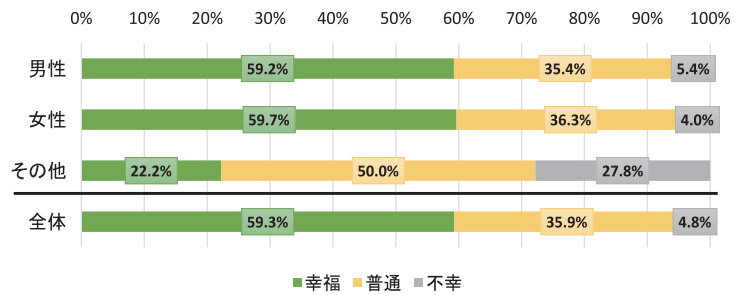


## (2) 性別、世帯別

### ①性別

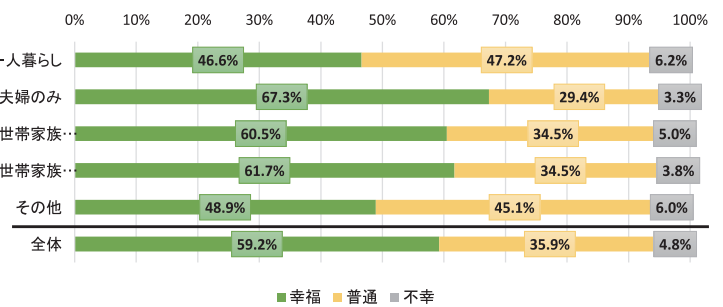
幸福実感（10段階尺度）と性別との関係について、男性では59.2%、女性では59.7%が「幸福」と分類された。

昨年に比べて男性の方が幸福実感の伸び率が高い傾向にある（2.3%上昇）。



### ②世帯別

幸福実感（10段階尺度）と世帯との関係について、一人暮らし世帯に比べて、夫婦世帯、2、3世帯の方が、幸福実感が高い傾向にある。



## (3) 性別×年齢別

「幸福」に分類された男女の年齢層について、女性は、30代及び50代の幸福実感が全体より高い傾向にある。

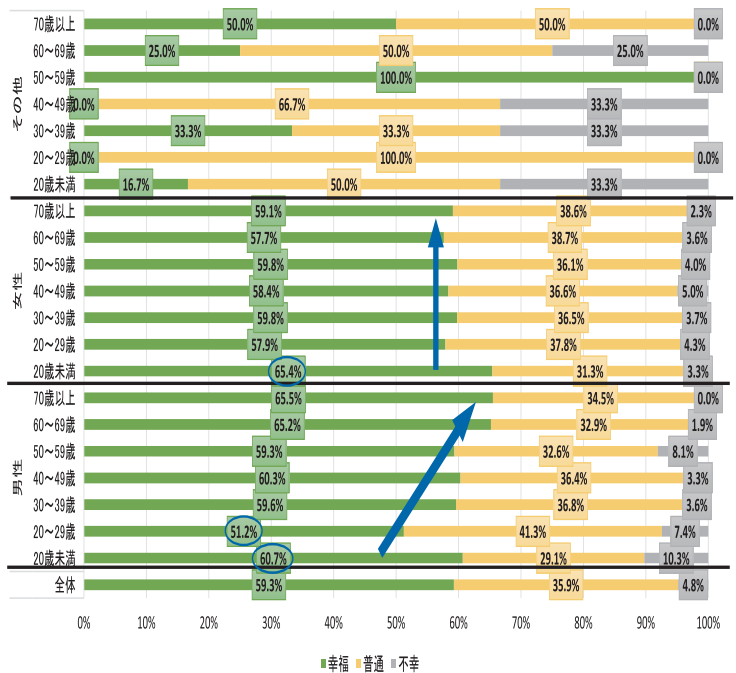
男性は、30代以上の幸福実感が全体より高い傾向にある。

一方、20歳未満の幸福実感が昨年に比べて増加している。

しかし、20～29歳の男性の幸福実感は、他の年齢層に比べて低い傾向がある。

女性の幸福度は、年齢が上がるにつれて増加していく傾向があったが、今回の調査ではそのような傾向が見られない。

どの層もおおむね約6割が幸福に分類されている。

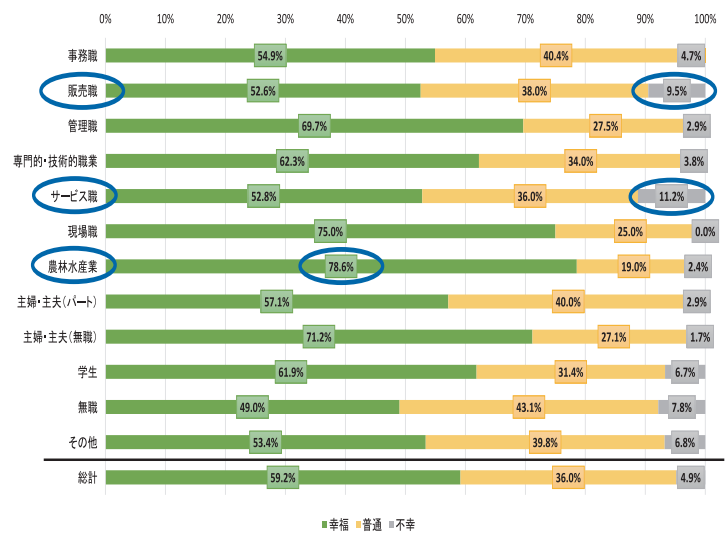


#### (4) 職業別×幸福度

幸福度と職業でクロス集計して比較したところ、学生、主婦・主夫（無職）、農林水産業、現場職、専門技術職、管理職の幸福に分類される人々の割合が、全体より高い傾向にある。

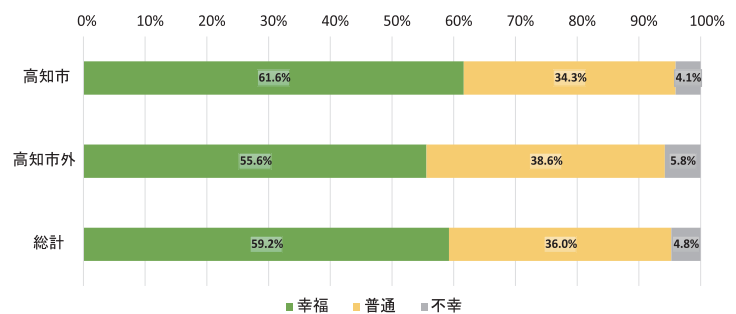
特に農林水産業の幸福実感が高い傾向にある。

一方、サービス職、販売職の不幸に分類される割合が全体より高い傾向にある。



#### (5) 地域区分（高知市・高知市外）

高知市居住者の幸福に分類される割合が大きい。



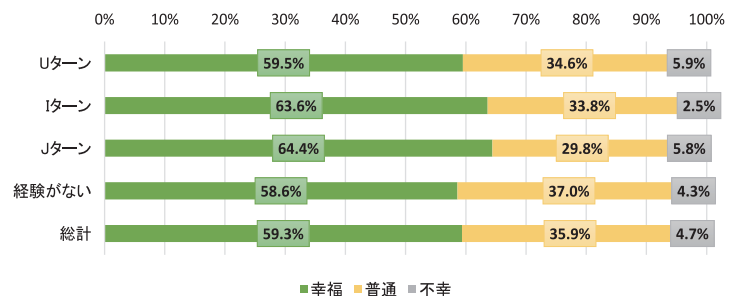
#### (6) 高知県へのU I Jターン経験

高知県へのUIJターンの経験がある回答者は、経験がない人々に比べて「幸福」に分類される人の割合が大きい。

また、全体の「幸福」に分類される割合と比べても、UIJターン経験者の幸福度は高い傾向にある。

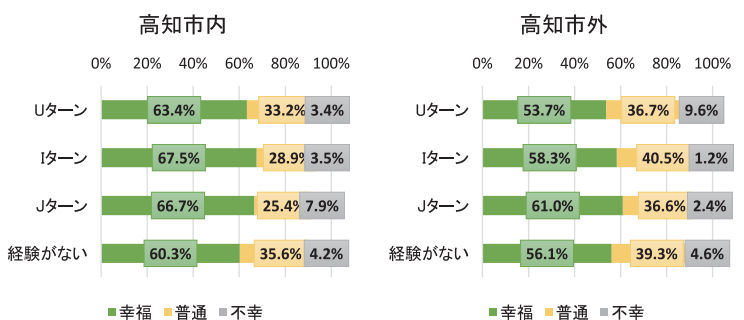
UIJターン経験あり：1,339名中810名が幸福と回答（60.5%）

経験なし：2,073名中1,215名が幸福と回答（58.6%）



高知市内と郡部に分けてUIJターンの幸福度について比較したところ、高知市へのUIJターンの者の幸福に分類される割合が高知市以外のものより高い。

高知市へのUターン者（63.4%）は、郡部へのUターン者（53.7%）に比べて「幸福」に分類される割合の差が大きい。



## 2. 各設問の結果分析

### (1) 人生満足度

#### ① 7段階区分による分析

人生満足度（7段階で回答、設問5項目）について、7段階中5と回答した人が最も多く、合計（設問5項目の総和）の平均値は20.8であった。（昨年（2019年）の平均値は21.1）

日本人1,500人のインターネット調査（2011年）における点数分布は、平均18.9点である。（出典：前野（2013）「幸せのメカニズム：実践・幸福学入門」）

#### 人生満足度の尺度

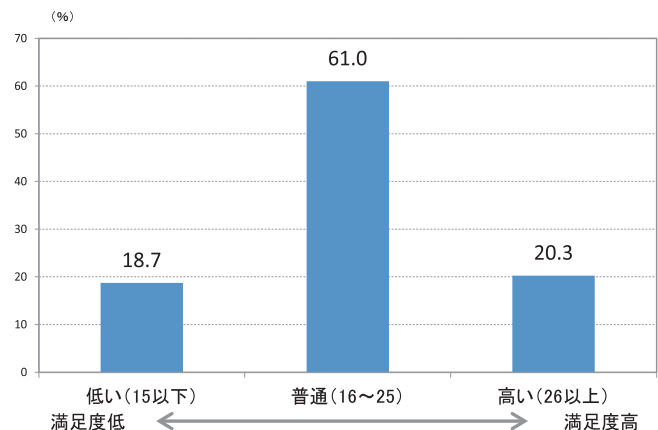
1. ほとんどの面で、私の人生は私の理想に近い。
2. 私の人生は、とても素晴らしい状態だ。
3. 私は自分の人生に満足している。
4. 私はこれまで、自分の人生に求める大切なものを得てきた。
5. もう一度人生をやり直せるとしても、ほとんど何も変えないだろう。

※1～7点の総和の最大を35点、最小を5点として計算。

#### ② 3段階区分による分析

人生満足度（7段階で回答、設問5項目の総和）のうち、26点以上を「人生満足度が高い」、16～25点を「普通」、15点以下を「人生満足度が低い」と区分。

回答の20.3%が「人生満足度が高い」、61.0%が「普通」、18.7%が「人生満足度が低い」に分類された。回答者の81.3%が普通以上の人生満足度を感じて生活していると考えられる。



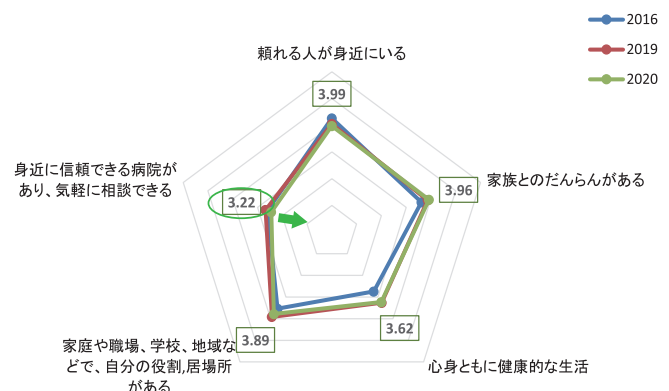
### (2) 健康や人とのつながり

〔前回調査との比較〕 幸福実感度3.5以上の項目はクリーム色で、3.0未満はブルーで色分けした。  
前々回（2016年）、前回（2019年）調査時と同じ質問項目については前（々）回との差を表示した。

| 分野         | 質問項目                                               | 項目別平均実感度 |       |       |          |          |
|------------|----------------------------------------------------|----------|-------|-------|----------|----------|
|            |                                                    | 2016年    | 2019年 | 2020年 | 2019年との差 | 2016年との差 |
| 健康や人とのつながり | いざという時に頼れる人が身近にいますか                                | 4.13     | 4.02  | 3.99  | -0.04    | -0.14    |
|            | 家族とのだんらんがあると感じますか                                  | 3.81     | 3.94  | 3.96  | 0.02     | 0.15     |
|            | 心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか                       | 3.37     | 3.63  | 3.62  | -0.01    | 0.25     |
|            | あなたは、家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があったり、自分の居場所があったりすると感じますか | 3.77     | 3.96  | 3.89  | -0.06    | 0.12     |
|            | 身近に信頼できる病院があり、気軽に相談できると感じますか                       | 3.30     | 3.34  | 3.22  | -0.12    | -0.08    |

健康や人とのつながりについては、前回同様平均実感度が高い分野であるが、医療に関する実感度は若干低めであるとともに、昨年より0.12ポイント下がった。

#### 健康や人とのつながり



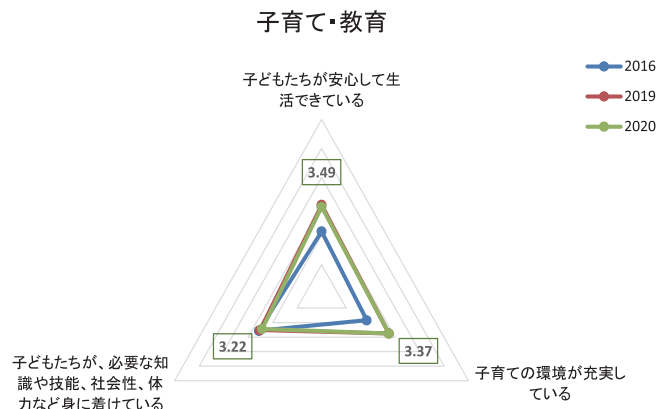
### (3) 子育て・教育

〔前回調査との比較〕 幸福実感度3.5以上の項目はクリーム色で、3.0未満はブルーで色分けた。  
前々回（2016年）、前回（2019年）調査時と同じ質問項目については前（々）回との差を表示した。

| 分野     | 質問項目                                                   | 項目別平均実感度 |       |       |          |          |
|--------|--------------------------------------------------------|----------|-------|-------|----------|----------|
|        |                                                        | 2016年    | 2019年 | 2020年 | 2019年との差 | 2016年との差 |
| 子育て・教育 | 子どもたちが安心して生活できていると感じますか（通学、遊びの場、学校を含む）                 | 3.07     | 3.53  | 3.49  | -0.04    | 0.42     |
|        | お住まいの地域では子育ての環境が充実していると感じますか                           | 2.92     | 3.37  | 3.37  | 0.00     | 0.45     |
|        | 子どもたちが、社会で生活してゆく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを総合的に身に着けていると感じますか | 3.28     | 3.26  | 3.22  | -0.04    | -0.06    |

子育て・教育に関しては、実際にその環境にある人の回答となり、他の分野に比して1割程度少ない回答であった。

また、昨年とほぼ同じ回答内容となった。



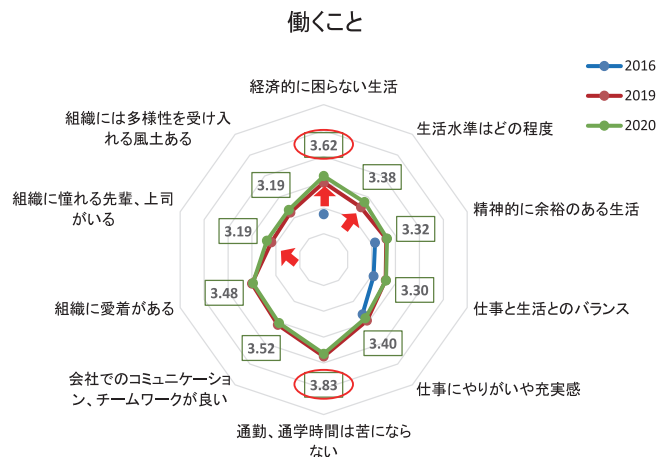
### (4) 働くこと

〔前回調査との比較〕 幸福実感度3.5以上の項目はクリーム色で、3.0未満はブルーで色分けた。  
前々回（2016年）、前回（2019年）調査時と同じ質問項目については前（々）回との差を表示した。

| 分野   | 質問項目                                                     | 項目別平均実感度 |       |       |          |          |
|------|----------------------------------------------------------|----------|-------|-------|----------|----------|
|      |                                                          | 2016年    | 2019年 | 2020年 | 2019年との差 | 2016年との差 |
| 働くこと | あなたは、経済的に困らない生活を送ることができていると感じますか                         | 2.88     | 3.49  | 3.62  | 0.13     | 0.74     |
|      | あなたの生活水準はどの程度だと感じていますか（とても貧しい1→最も豊か5）                    | —        | 3.25  | 3.38  | 0.12     | —        |
|      | あなたは、精神的に余裕のある生活を送ることが出来ていると感じますか                        | 3.07     | 3.31  | 3.32  | 0.02     | 0.25     |
|      | 仕事（専業主婦にとっての家事を含む）と生活とのバランスが取れていると感じますか                  | 3.04     | 3.29  | 3.30  | 0.01     | 0.26     |
|      | 仕事（専業主婦にとっての家事を含む）にやりがいや充実感を感じますか                        | 3.31     | 3.46  | 3.40  | -0.06    | 0.09     |
|      | 通勤、通学は苦にならない程度の時間だと感じますか                                 | —        | 3.87  | 3.83  | -0.05    | —        |
|      | 会社でのコミュニケーション、チームワークが良いと感じますか                            | —        | 3.56  | 3.52  | -0.04    | —        |
|      | 所属している組織に愛着がありますか                                        | —        | 3.50  | 3.48  | -0.02    | —        |
|      | 所属している組織に憧れる先輩、上司がどのくらいいますか（全くいない1→全員そうだ5）               | —        | 3.09  | 3.19  | 0.10     | —        |
|      | 所属している組織には多様性（性別、年齢、障がい者、外国人などで障壁等が無いこと）を受け入れる風土あると感じますか | —        | 3.13  | 3.19  | 0.06     | —        |

働くことに関する実感度については、通勤時間の短さを実感している人が多い。

経済的に困らない実感度は昨年に比して0.13ポイント上昇し、今回の調査の中で最も上昇幅が大きい項目である。また、生活水準実感度も昨年に比して0.12ポイント上昇し、組織に憧れる先輩・上司がいるが同0.10ポイントと続く。働くことの実感度は概ね高いと思われる。

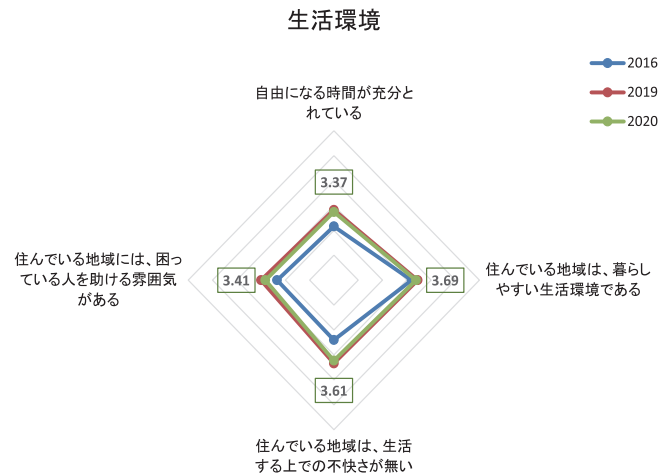


## (5) 生活環境

【前回調査との比較】 幸福実感度3.5以上の項目はクリーム色で、3.0未満はブルーで色分けした。  
前々回（2016年）、前回（2019年）調査時と同じ質問項目については前（々）回との差を表示した。

| 分野   | 質問項目                                               | 項目別平均実感度 |       |       |          |          |
|------|----------------------------------------------------|----------|-------|-------|----------|----------|
|      |                                                    | 2016年    | 2019年 | 2020年 | 2019年との差 | 2016年との差 |
| 生活環境 | 自由になる時間が充分とれていてと感じますか                              | 3.08     | 3.41  | 3.37  | -0.04    | 0.29     |
|      | お住まいの地域は暮らしやすい生活環境であると感じますか                        | 3.60     | 3.73  | 3.69  | -0.03    | 0.09     |
|      | お住いの地域では、生活する上での不快さ（悪臭、騒音、ポイ捨て、ゴミ屋敷などを含む）が無いと感じますか | 3.20     | 3.67  | 3.61  | -0.06    | 0.41     |
|      | お住いの地域では、困っている人を見かけたときに、声をかけたり協力したりする雰囲気があると感じますか  | 3.17     | 3.50  | 3.41  | -0.09    | 0.24     |

住んでいる地域での生活環境については、5段階で概ね3.5以上の実感度となっているが、全ての項目で昨年より若干実感度が下がっている。



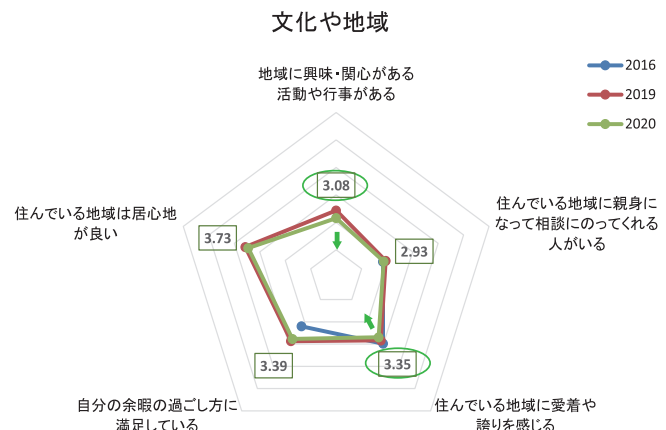
## (6) 文化や地域

【前回調査との比較】 幸福実感度3.5以上の項目はクリーム色で、3.0未満はブルーで色分けした。  
前々回（2016年）、前回（2019年）調査時と同じ質問項目については前（々）回との差を表示した。

| 分野    | 質問項目                             | 項目別平均実感度 |       |       |          |          |
|-------|----------------------------------|----------|-------|-------|----------|----------|
|       |                                  | 2016年    | 2019年 | 2020年 | 2019年との差 | 2016年との差 |
| 文化や地域 | 地域に興味・関心がある活動や行事があると感じますか        | —        | 3.22  | 3.08  | -0.14    | —        |
|       | お住いの地域に親身になって相談にのってくれる人がいると感じますか | 2.92     | 2.97  | 2.93  | -0.04    | 0.01     |
|       | お住まいの地域に愛着や誇りを感じますか              | 3.49     | 3.42  | 3.35  | -0.07    | -0.14    |
|       | あなたは、自分の余暇の過ごし方に満足していると感じますか     | 3.10     | 3.43  | 3.39  | -0.05    | 0.29     |
|       | お住まいの地域は居心地が良いですか                | —        | 3.78  | 3.73  | -0.06    | —        |

文化や地域に関しては、概ね昨年同様の回答となったが、地域に興味・関心ある活動や行事があるとの回答は昨年に比して0.14ポイント下げた。これは今回の調査の中で最大の乖離幅であった。

また、地域への愛着や誇りを感じるとした回答は、2016年から毎回減り続けている。



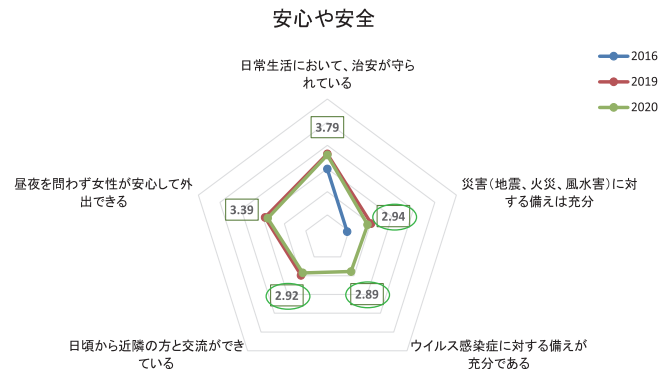
## (7) 安心や安全

〔前回調査との比較〕 幸福実感度3.5以上の項目はクリーム色で、3.0未満はブルーで色分けした。  
前々回（2016年）、前回（2019年）調査時と同じ質問項目については前（々）回との差を表示した。

| 分野    | 質問項目                          | 項目別平均実感度 |       |       |          |          |
|-------|-------------------------------|----------|-------|-------|----------|----------|
|       |                               | 2016年    | 2019年 | 2020年 | 2019年との差 | 2016年との差 |
| 安心や安全 | 日常生活において、治安が守られていると感じますか      | 3.49     | 3.82  | 3.79  | -0.02    | 0.30     |
|       | 災害（地震、火災、風水害）に対する備えは充分だと感じますか | 2.46     | 3.02  | 2.94  | -0.08    | 0.48     |
|       | ウイルス感染症に対する備えは充分だと感じますか       | —        | —     | 2.89  | —        | 2.89     |
|       | 日頃から近隣の方と交流ができていると感じますか       | —        | 2.99  | 2.92  | -0.07    | —        |
|       | 昼夜を問わず女性が安心して外出できる            | —        | 3.45  | 3.39  | -0.06    | —        |

安心・安全の分野における実感度は、防犯に関する項目では低くはないが、災害等に関する項目については、まだ不十分であるとの実感がある。

5項目中3項目が、5段階で3点未満の結果となっており、安心・安全の分野の実感度を下げている。



## (8) お住まいの都道府県

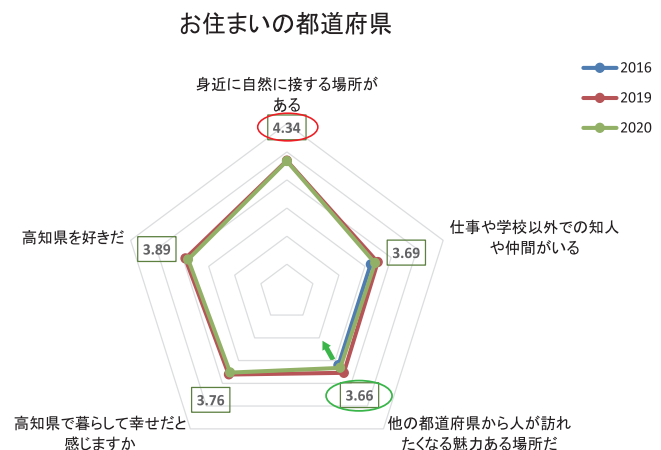
〔前回調査との比較〕 幸福実感度3.5以上の項目はクリーム色で、3.0未満はブルーで色分けした。  
前々回（2016年）、前回（2019年）調査時と同じ質問項目については前（々）回との差を表示した。

| 分野        | 質問項目                             | 項目別平均実感度 |       |       |          |          |
|-----------|----------------------------------|----------|-------|-------|----------|----------|
|           |                                  | 2016年    | 2019年 | 2020年 | 2019年との差 | 2016年との差 |
| お住まいの都道府県 | 身近に（気軽に）自然に接する場所（海、川、山）があると感じますか | —        | 4.35  | 4.34  | -0.01    | —        |
|           | 仕事や学校以外での知人や仲間がいると感じますか          | 3.61     | 3.74  | 3.69  | -0.05    | 0.08     |
|           | 他の都道府県から人が訪れたい魅力ある場所だと感じますか      | 3.60     | 3.77  | 3.66  | -0.11    | 0.06     |
|           | あなたは（お住まいの都道府県）で暮らして幸せだと感じますか    | —        | 3.80  | 3.76  | -0.04    | —        |
|           | あなたは（お住まいの都道府県）を好きだと感じますか        | —        | 3.95  | 3.89  | -0.05    | —        |

高知県在住の人々から見た高知県については、概ね高い好感度がある事が分かった。

特に身近な自然については、今回のアンケートの中で最も高い実感度を示した。

しかしながら、他の都道府県から訪れたい魅力ある場所であるとの回答は、前回に比して0.11ポイント下がった。



### 3. アンケート自由記述（新型コロナウイルスの影響関連）

#### （1）健康や人とのつながり

- 万全の検査、対応が必要
- 出かけられないことに大きなストレスを感じる
- それぞれの立場からお互い思いやりを持って乗り越えたい

新型コロナウイルス感染拡大への不安を訴える回答が多くあった。

#### （2）子育て・教育

- アルバイトがなくなった学生を補助して欲しい
- 家族との時間が増え、幸福感が増した
- 就職・進学を控えた子供たちへの影響が心配

新型コロナウイルス感染拡大防止のための「休校措置」、「緊急事態宣言」等で、人の動きが制限された結果、「家族で過ごす時間が増えた」という前向きな回答もあったが、大半は、多方面に悪い影響が出ていると回答した人が多かった。

#### （3）働くこと

- 感染した場合に職場に迷惑をかけてしまう不安
- テレワークによって、仕事に影響なく家事もできた
- 介護職は精神的プレッシャーが強い

「新型コロナウイルスに感染するかもしれない」という不安を訴える回答が多い一方で、「テレワーク」が出来る環境で仕事に従事する人は、「家事の時間が確保できた」という回答も一部であった。

#### （4）生活環境

- 自宅や実家に帰省できない
- 今ここにあるもので過ごすことに、少しずつ満足感が得られるようになった
- 毎日家でご飯が食べられることが幸せ

コロナ禍が長期化していることへの不安感を訴える記述もあった。

#### （5）文化や地域

- コロナが収束し、またにぎやかな「高知家」に戻ることを願う
- 都会での感染状況を見て、高知に住んでいてよかったと思った
- 高知といえば「食」なのに、良いお店が苦境に立っているのが忍びない

県内イベントが次々と中止となり、「高知県の伝統文化である皿鉢料理、返杯などができない状況が忍びない」などの意見もあった。

## (6) 安心や安全

- 災害が起き、避難所生活となった時の感染症対策が不安
- 対策が万全ではない、徹底的にやって欲しい
- 都市部と高知の人の行き来は当面制限すべき

物流インフラの確保、医療体制強化、感染者やその家族、職場での風評被害などを心配する記述もあった。

## 4. 「高知県民総幸福度（GKH）指標 改定版」の発表

各分野の重要項目の指標案を掲示した。当該指標と関連する客観指標の抽出については、今後の課題とする。

| 分野         | 重要項目                                    | 指標           |
|------------|-----------------------------------------|--------------|
| 健康や人とのつながり | いざという時に頼れる人が身近にいること                     | つながり         |
|            | 家族と過ごす時間があること                           | 家族のだんらん      |
|            | 心身ともに健康的な生活であること                        | 心身の健康        |
|            | 社会の中で自分の役割や居場所があること                     | 自分の役割        |
|            | 身近に信頼できる医療機関があること                       | 医療の充実        |
| 子育て・教育     | 子どもが安心して通学、遊びができる地域の見守りがあること            | 地域の見守り       |
|            | 子育ての環境が充実していること                         | 子育て環境の充実     |
|            | 子どもが社会生活上、必要な知識や技能、社会性、体力などを総合的に身につけること | 生きる力の習得      |
| 働くこと       | 経済的に困らない生活を送ることができること                   | 経済的なゆとり      |
|            | 一定の生活水準が確保されていること                       | 生活水準の確保      |
|            | 精神的に余裕のある生活を送れること                       | 精神的なゆとり      |
|            | 仕事と生活とのバランス（ワークライフバランス）が取れていること         | ワーク・ライフ・バランス |
|            | 仕事にやりがいや充実感があること                        | 仕事のやりがい      |
|            | 通勤、通学が苦にならないこと                          | 通勤・通学時間の短さ   |
|            | 勤め先でのコミュニケーション、チームワークがとれていること           | 職場コミュニケーション  |
|            | 所属している組織に愛着があること                        | 職場への愛着心      |
|            | 所属している組織に憧れる先輩、上司がいること                  | ロールモデルの存在    |
| 生活環境       | 所属している組織に多様性を受け入れる風土があること               | 多様性の受容       |
|            | 自由になる時間が充分とれていること                       | 時間の自由度       |
|            | 暮らしやすい生活環境があること                         | 生活環境の充実      |
|            | 住んでいる地域では生活する上での不快さが無く快適であること           | 周辺環境の快適さ     |
| 文化や地域      | 困っている人に声がけや協力する雰囲気地域にあること               | 心のバリアフリー     |
|            | 興味・関心がある活動や行事が地域にあること                   | 興味・関心事への取り組み |
|            | 地域に頼れる人がいること                            | 地域に頼れる人がいる実感 |
|            | 地域の文化や特色に愛着や誇りを感じる                      | 地域への愛着       |
|            | 満足できる余暇があること                            | 満足できる余暇      |
| 安心や安全      | 地域に居心地の良さを感じる                           | 居心地の良さの実感    |
|            | 犯罪への不安がないこと                             | 防犯性          |
|            | 災害に対する備えは充分であること                        | 災害への備え       |
|            | ウイルス感染症に対する備えが充分であること                   | 公衆衛生活動への取り組み |
|            | 日頃から近隣の人と交流があること                        | 絆・助け合い       |
| お住いの都道府県   | 女性が安心して外出できること                          | 女性の安心実感      |
|            | 身近に自然に接する場所があること                        | 自然環境の充実      |
|            | 仕事や学校以外で多くの交流があること                      | 人的交流の充実      |
|            | 住んでいる地域が域外からみて魅力があること                   | 地域の魅力        |
|            | 住んでいる地域の暮らしで幸せだと感じられること                 | 幸福の実感        |

## 5. 総括

昨年(2019年)に引き続き実施した今年のGKHアンケート調査では、昨年と概ね同様に「幸福である」と回答した人が比較的多い傾向にあるという結果を得た。

全体の幸福度については、国内外で多く使われている10段階評価で、昨年は57.7%の県民が幸福であると回答したのに対し、今年は、昨年を1.5%上回る59.2%の県民が幸福であると回答している。

また、10段階評価による県民の幸福度の平均値は6.75となり、World Database of Happiness (WDH) による日本の主観的幸福度の平均値6.1(2013年)を上回る結果となった。

今年(2020年)の調査でも、幸福を実感するための要素(7分野36項目)について、それぞれの実感度を5段階評価で質問した。昨年と比較すると、健康や人とのつながり項目は、昨年と同様に高い県民の幸福実感度となった。しかし、それ以外は、全体的に若干ではあるが低下傾向にあることもわかった。これは、高知県内でも新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、心理的不安に陥る影響も少なからずあったものと推察される。

「働くこと」の分野での「経済的に困らない生活」の項目では、昨年比+0.13、「生活水準」が同様に+0.12の向上がみられた。さらに、経済的理由による幸福実感度は昨年比+0.13向上しており、これは高知県産業振興計画等の効果の現われだと考えられる。また、通勤時間の短さは幸福実感度に影響を与えている。

一方、「通勤・通学」、「会社でのコミュニケーション」、「組織への愛着」は昨年比-0.02~-0.05と、低下している。

このほか、昨年同様に、高知県では、「身近に自然がある」と実感する人も多く、また、生活環境面においては、昨年調査に比べて暮らしやすい環境、不快さが少なくなったことによる幸福実感度が向上した。

もっとも、実感度の改善が進んでいない項目もある。例えば、2016年調査より継続的に減少傾向にあるのは、「健康や人とのつながり」の分野では、「いざというときに頼れる人の存在」、「気軽に相談できる相手」、「子どもたちの学び・育ち」などの項目である。

今後も本調査で明らかとなった課題を解決するとともに、高知県の良さをさらに伸ばしていくため、今まで以上に、企業や行政、地域や個人が連携していく前向きな取り組みを継続していくことが大切と考える。

また、そうした取り組みの成果を測り、さらなる課題を発見していくためには、今後とも、幸福度に関する調査を定期的に続けていく必要がある。その際には、地域的にも、年代・職業の面でも偏りなく、できるだけ多くの人の意見を聞くことも重要である。昨年(2019年)に設立された「一般社団法人しあわせ推進会議」は、そうした県内の幅広い主体を結び付ける核になることが期待される。

GKH指標が、「しあわせ推進会議」のもとでさらに発展し、「高知家」の家族みんなの幸せを一層高める行動につながることを願っている。

以上



▲ 2020年10月3日開催、第14回土佐の日2020「しあわせ」シンポジウムでの発表の様子

2020年9月

株式会社 四銀地域経済研究所

## Summary

- ◆ 事業への影響・・・8月時点で、県内企業の7割に「マイナスの影響」、4月時点から微減。「プラスの影響」は1割。「影響なし」が2割。
- ◆ 具体的な影響・・・マイナスと回答した企業のうち、「販売・売上」が9割を占め、4月時点から1割増加。一方、「仕入れ」「資金繰り」等は割合が減少。
- ◆ 緊急事態宣言解除後の変化・・・5割は「変わらず」、「好転」は3割、「悪化」が2割。
- ◆ 売上高の回復・・・「1年以内」が3割、「1年以上かかる」が5割と見通している。一方、「以前の状態に戻る見通しが立たない」が1割。
- ◆ 支援策の利用・・・7割の企業が何らかの支援策を利用。

「緊急事態宣言」「移動制限」の解除後、段階的に動き出した個人や企業の行動スタイルはコロナ禍前には戻らず、感染再拡大による経済活動の停滞が懸念され、現在も先行きが見えない状況が続いている。

当研究所では、高知県内企業への影響とその実態を把握するため、2回目のアンケート調査を実施した。

※なお、第1回調査は2020年3月26日～4月15日に行い、本稿で比較する際は「4月時点・4月比」と表示する。

## (1) 調査の実施内容

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 調査対象  | 高知県内に事業所を置く企業   |
| 調査の方法 | 郵送及び四国銀行の各店舗で配布 |
| 調査時期  | 2020年8月3日～9月3日  |
| 回答企業数 | 241社（回答率77%）    |

## (2) 回答企業の属性

| 業種        | 回答数     | 構成比      |
|-----------|---------|----------|
| 製造業       | 飲・食料品   | 18 7%    |
|           | 木材・木製品  | 9 4%     |
|           | 製紙      | 7 3%     |
|           | 機械      | 9 4%     |
|           | 窯業・土石   | 9 4%     |
|           | その他製造   | 21 9%    |
|           | (小計)    | (73) 30% |
| 卸・小売業     | スーパー    | 8 3%     |
|           | 衣料品     | 5 2%     |
|           | 食料品     | 15 6%    |
|           | 自動車     | 9 4%     |
|           | 建設資材    | 10 4%    |
|           | 石油      | 5 2%     |
|           | その他販売   | 31 13%   |
|           | (小計)    | (83) 34% |
| 運輸・サービス業  | 運輸      | 12 5%    |
|           | 宿泊・飲食   | 18 7%    |
|           | 情報通信    | 7 3%     |
|           | その他サービス | 19 8%    |
|           | (小計)    | (56) 23% |
| 建設業       | 29      | 12%      |
| 非製造業 (小計) | (168)   | 70%      |
| 合計        | 241     | 100%     |

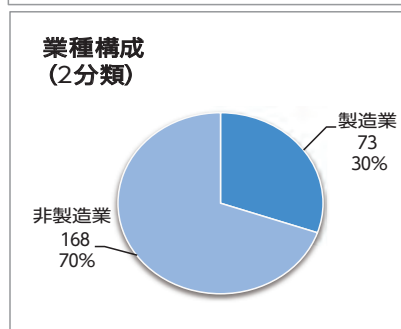
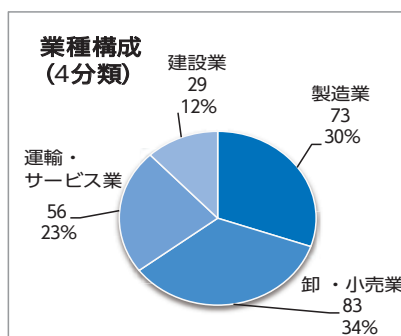
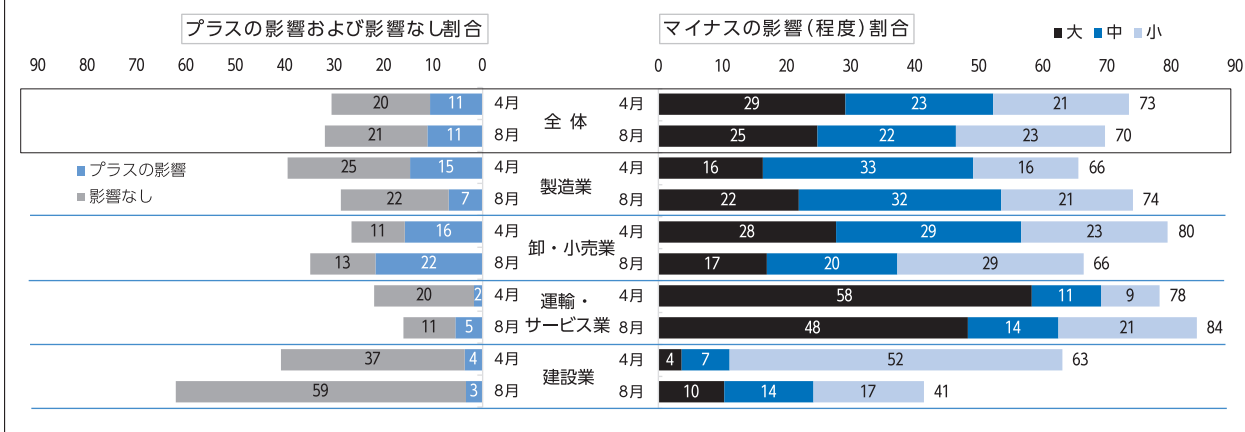


図1 事業活動への影響



※四捨五入の関係でマイナス影響全体の数字が「小、中、大」の合計と一致しない場合がある。

※「マイナス影響」「プラス影響」両面がある企業があるため、「マイナス影響」、「プラス影響」、「影響なし」の合計が100とならない。

## 1. 現在の事業活動への影響（図1）

8月時点での、新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響を県内企業に尋ねたところ、全体では「マイナスの影響」と回答した企業の割合が70%「プラスの影響」が11%、「影響なし」が21%となった。

依然として、「マイナスの影響」と回答した企業の割合が高いが、4月（前回調査時点）比で3ポイント減少し、「大きなマイナスの影響」も同4ポイント減となり、影響の悪化に底打ちの兆しが見られた。

業種別にみると、製造業では「マイナスの影響」が74%、4月比8ポイント増となり、うち「大きなマイナス影響」は同6ポイント増の22%、「影響なし」は同3ポイント減で22%となった。4月時点では、食料品や日用品、衛生用品を製造する企業の一部で「プラスの影響」があったことに加え、緊急事態宣言が全国に広がる前の調査であったこともあり、他業種と比較して影響が少なかったが、8月時点では感染の長期化が広範囲に渡ったことによる需要減速で、受注や販売が停滞もしくは減少する傾向が強まった。

卸・小売業では「マイナスの影響」が4月比14ポイント減の66%、「プラスの影響」は同6ポイント増の22%、「影響なし」は同2ポイント増で13%となった。外出自粛が続いていることやイベント中止等により、食料品卸や石油販売で「大きなマイナスの影響」があった。

一方、食料品や日用品、衛生用品を販売し生活に欠かせない社会インフラとなっているスーパーは調査先すべての企業が「プラスの影響」を受けていると回答。

運輸・サービス業では「マイナスの影響」が84%で4月比6ポイント増、「プラスの影響」が5%、「影響なし」が11%となっている。「マイナスの影響」が増加したものの、内訳をみると、「大きなマイナスの影響」は同10ポイント減、「小さいマイナスの影響」は同12ポイント増となり、4月時点より影響は軽減されたといえる。国の観光支援事業（Go To キャンペーン）や自治体の助成事業等の相乗効果により、宿泊・飲食サービス業を中心に客足が徐々に回復基調となったことが要因と考えられる。

建設業では「影響なし」が約6割となり、「マイナスの影響」の約4割を上回った。「大きなマイナスの影響」は4月比6ポイント増となったが、10%にとどまり、他業種に比べると影響は小さかった。公共・民間共に予算通りの工事が行われているうちは影響が少ないが、来年度以降設備投資や財政の状況次第では公共投資も減少する懸念がある。

## ○具体的なマイナスの影響（図2）

「マイナスの影響あり」と回答した企業に具体的内容を尋ねたところ（複数回答可）、1位が「販売・売上」が90%、2位が「資金繰り」で14%、

図2 具体的マイナス影響（複数回答可）

|               |     | (単位：%) |      |               |        |                |    |       |     |      |     |
|---------------|-----|--------|------|---------------|--------|----------------|----|-------|-----|------|-----|
|               |     | 販売・売上  | 資金繰り | 人繰り<br>(従業員等) | 生産（操業） | 仕入れ<br>(含原材料等) | 在庫 | 物流・配送 | 輸出入 | 設備投資 | その他 |
| 全体 n=173      | 8月  | 90     | 14   | 10            | 8      | 10             | 7  | 8     | 4   | 3    | 5   |
|               | 4月比 | +12    | -13  | -1            | +5     | -19            | +1 | -4    | -4  | +2   | 0   |
| 製造業 n=55      | 8月  | 87     | 9    | 9             | 18     | 5              | 11 | 5     | 9   | 0    | 5   |
|               | 4月比 | -1     | -5   | +5            | +9     | -15            | +2 | -8    | -11 | -2   | +1  |
| 卸・小売業 n=57    | 8月  | 96     | 11   | 5             | 2      | 21             | 11 | 18    | 4   | 0    | 4   |
|               | 4月比 | +15    | -19  | -6            | +2     | -16            | +6 | +4    | -4  | -2   | -1  |
| 運輸・サービス業 n=49 | 8月  | 90     | 27   | 18            | 2      | 4              | 0  | 2     | 0   | 12   | 6   |
|               | 4月比 | +6     | -20  | -7            | +2     | -5             | -7 | 0     | 0   | +10  | -1  |
| 建設業 n=12      | 8月  | 75     | 0    | 8             | 8      | 8              | 0  | 0     | 0   | 0    | 8   |
|               | 4月比 | +51    | 0    | +8            | +8     | -68            | 0  | -24   | 0   | 0    | +2  |

3位は「人繰り（従業員等）」と「仕入れ（含原材料等）」が同率で10%となった。

「販売・売上」への影響は9割を占め、4月時点と比較すると12%増となった。

一方、「資金繰り」への影響は14%で、4月時点の27%から13%減少し、金融機関の積極的な金融支援や国や自治体による補助金・助成金・給付金等の利用により当面の資金確保ができたと考えられる。「仕入れ」への影響も同19%減少し、10%となった。海外からの輸入資材や商品の不足が解消されつつある。

他方、業績や資金繰りの悪化により「設備投資」への影響が微増となっている。

全体では徐々に業績回復の兆しがみえてきたといえる。

業種別にみると、製造業では「悪化・徐々に悪化」26%が「好転・徐々に好転」24%を僅か2%であるが上回った。うち、飲・食料品製造で53%が「好転・徐々に好転」、製紙で43%が「悪化・徐々に悪化」であった。

一方、非製造業では、「好転・徐々に好転」が34%、「悪化・徐々に悪化」が16%となり、「好転・徐々に好転」が18%上回った。

なお、全産業中で製紙(43%)、情報通信(43%)、運輸(42%)、窯業・土石(33%)が「悪化・徐々に悪化」の割合が高かった。対し、衣料品販売(80%)、宿泊・飲食サービス(78%)、自動車販売(67%)、飲食料品製造(53%)、食料品販売(53%)、石油販売(40%)では「好転・徐々に好転」が高い割合となった。

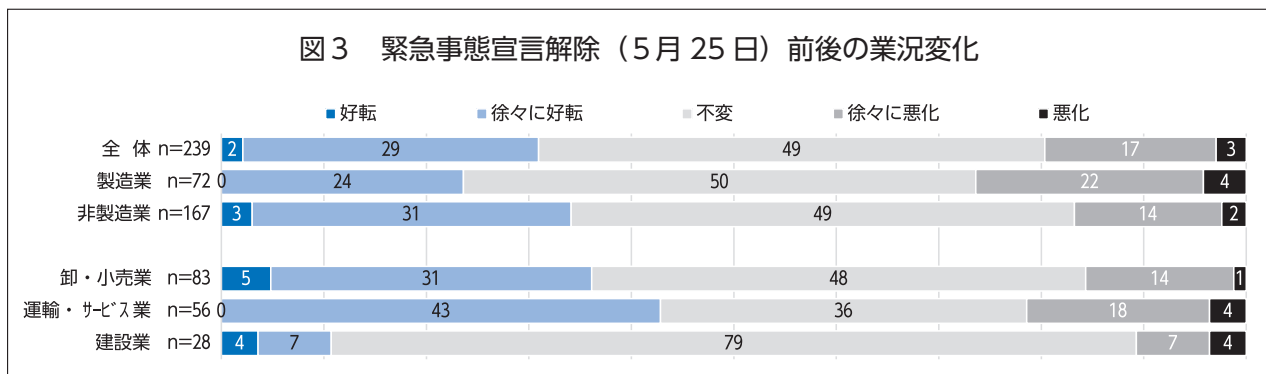
## 2. 緊急事態宣言解除後の業績変化（図3）

5月25日の緊急事態宣言解除後の業績の変化を尋ねたところ、全体では「変わらない」が49%、「好転・徐々に好転」が31%、「悪化・徐々に悪化」が20%となり、約半数の企業が宣言解除後も感染再拡大の懸念から社会全体で自粛傾向は続くとして、「変わらない」と回答した。「好転・徐々に好転」が「悪化・徐々に悪化」を上回ったことから、

## 3. 感染症に備えた対策（次頁、図4）

現在、自社で感染症に備えた対策状況を尋ねたところ（複数回答可）、一番多かったのが「マスクの着用、検温の実施等」で、88%の企業が感染

図3 緊急事態宣言解除（5月25日）前後の業況変化

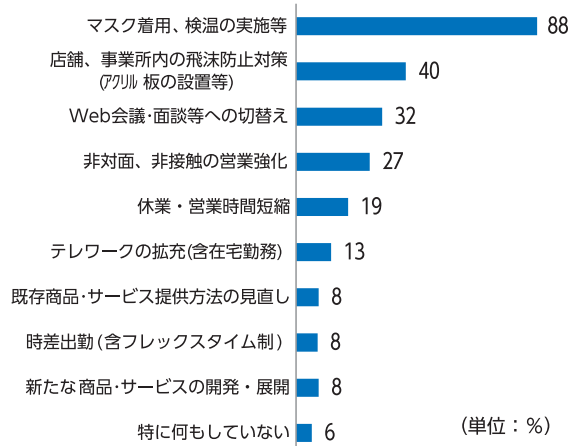


症対策に有効な手段として「マスク・検温等」を行っていることが分かった。二番目に多かったのが、「店舗、事業所内の飛沫防止対策（アクリル板の設置等）」が40%で、次に「Web 会議・面談等への切り替え」が32%となった。

「テレワークの拡充」も今回13%となり、4月時点の6%から倍増した。

宣言解除後は、従業員や顧客間で新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎつつ、新型コロナウイルスと共に生きる（ウィズコロナ）社会に向けて、新しい生活様式を模索しながら企業の事業継続、業績回復に尽力していることがわかった。

図4 感染症に備えた対策（複数回答可）



#### 4. 売上高が回復するまでの期間（図5）

売上高が、コロナ禍前の水準に回復するまでの見通しを尋ねたところ、「1年以上かかる」と答えた企業が55%と過半数を占めた。「すでに戻った」企業は7%ある一方、「以前の状態に戻る見通しが立たない」企業は11%となった。

業種別にみると、製造業で「1年以上かかる」は59%、「1年以内」は30%、「以前の状態に戻る見通しが立たない」は11%となった。

非製造業で「1年以上かかる」は53%、「1年以内」が35%、「以前の状態に戻る見通しが立たない」が11%となり、製造業と比較すると業績の回復がわずかに早い傾向となった。

新型コロナウイルスの終息が見通せない中、自主的な自粛が徐々に緩和され、消費活動が再開し社会経済が回復するまでには1年以上かかると肌で感じている経営者が多いことが分かった。

#### 5. 利用・実施した支援策（図6）

コロナ禍により売上高減少の影響を受けた中小企業の事業継続を支援するために、資金調達のための様々な支援策が展開されている。

自社がすでに利用・実施した支援策を尋ねたところ（複数回答可）、一番利用が多かったのは金

図5 売上高の回復（全体）  
～コロナ禍前の水準に戻る見通し～

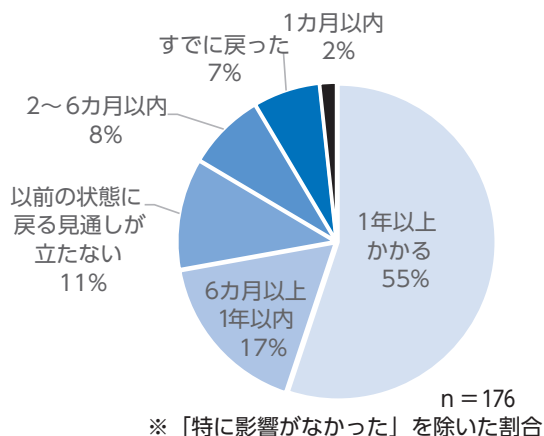
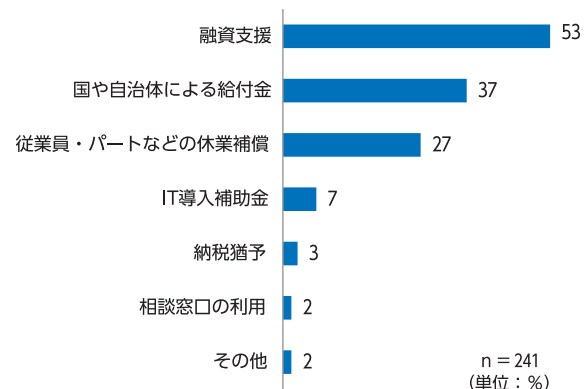


図6 利用した支援策（複数回答可）



融機関による「金融支援」で53%と過半数を超える企業が利用した。金融機関等の積極的な支援や身近に資金繰りの相談ができたことが要因と考えられる。

二番目が、持続化給付金をはじめとする「国や自治体による給付金」で37%。次いで、雇用調整助成金などの「従業員・パートなどの休業補償」が27%となり、製造業と宿泊・飲食サービス業の利用率が高かった。

複数の支援策を利用した企業も多く、全体で69%、約7割の企業が何らかの支援策を利用した。業種別では、運輸・サービス業の利用が79%と8割に迫った。製造業は66%、卸・小売業は68%、建設業でも62%の企業が支援策を利用した。

特に利用率が高かったのは、宿泊・飲食サービス業(100%)、衣料品販売(80%)、建築資材販売(80%)、石油販売(80%)等であった。

現時点において、重大な影響を受けていなくても、感染再拡大や景気の低迷等、今後の見通し判断が困難な状況で、手元資金を確保しておくために、支援策の利用率が高まったと考えられる。

## 6. 終わりに

今回の調査により、新型コロナウイルス感染拡大は高知県内の企業に、依然として深刻な影響を及ぼしていることが見てとれる。ただ、4月時点と比較すると最悪期からは脱しつつあると言える。

これから、感染拡大防止と経済活動を両立させる「ウィズコロナ」が長引くと思われる。

新型コロナウイルス感染症は非常に深刻な問題であるが、今まで当たり前と思っていたもののなかに、真に必要なものとそうでないものが混在しているという「新しい視点」を私たちに気づかせてくれた。また、新しい生活様式やビジネススタイルなどの変化が求められており、そこに新たなニーズ、ビジネスチャンスが生まれる可能性もある。例えば、都心の企業の地方への本部機能移転や、地方にサテライトオフィスの設置を検討するケースも増えており、それに伴う従業員の地方移住や長期滞在型のテレワークの導入といった動きも始めている。

そういった意味で、「ウィズコロナ」を地方が活性化するチャンスと捉え、官民一体となり、ITも含めた様々な環境整備を行うなか、潮流を見極めながら、機会を逃すことなく、前向きに進んでいくことを願っている。

## 7. 自社や所属業界の現状、ならびに今後予想される影響や懸念

標記設問に対する記述回答を、業種別に抜粋して掲載する。

### 1. 製造業

#### 現 状

- ・ 昨年10月の増税により落ち込んだ売上は、コロナ禍によりさらに大きく落ち込んでいる。出荷の減少により在庫過多や収益力の低下となっている（飲料）。
- ・ 非接触型検温器やウイルス除去空気清浄機の購入など、対策を検討中（食料品）。
- ・ 7月は、売上が前年同月より多かったが、8月に入り自粛ムードとなり売上が少し減り、雇用調整を8～9月にかけて行う予定（飲料）。
- ・ 顧客におけるコロナ対策として、顧客側での在庫保持による受注増が出ているものの、長期的には平準化されると見込んでいる（過去の東日本大震災と同じ流れ）（製紙）。

- ・マイナス面、業務用の紙製品の落ち込みが厳しいが、プラス面として、コロナ特需による除菌ウェットの売上増にてカバーしている（製紙）。
- ・当社の属する業界においては顕著なマイナスの影響は関知していない（機械）。
- ・広告代理店からのイベント関連の仕事が激減。ウイルスのワクチンが開発され、重症化への心配がなくなるまで、仕事は元に戻らない（印刷）。
- ・年内に単月の赤字をトントンに持っていれば十分（印刷）。
- ・業界自体の不況にコロナ関係で営業が滞り、ダブルの不況になっている（鉄鋼）。

#### 今後予想される影響や懸念

- ・ホテルや居酒屋での宴会がなく、イベントや会合の自粛、お土産を買い求める観光客も一気にいなくなり、さらに例年実施していた試飲商談会も中止となり、新酒を売り込む機会がなくなっている。この状態が続けば立ちいかない企業は少なくない（飲料）。
- ・感染者が一人出れば、工場閉鎖（休業）に追い込まれ、影響が多大であること（食料品）。
- ・今後もコロナでの影響はないと思われる（食料品）。
- ・コロナの収束が、先の見えない状況で、このまま状況が続けば、更なる人員削減、製造数量の縮小を考える必要がある（飲料）。
- ・コロナウイルスの影響は秋口にかけてマイナスの影響があると見込んでいる（製紙）。
- ・コロナの終息、オリンピック・パラリンピックの開催の有無で大きく景色が変わってくる→要は先が読めないことの不安が大きい（製紙）。
- ・国内全体の設備投資（マインド）及び、将来的な公共投資額減少による当社業界への波及、高知県内における新型コロナウイルス感染拡大による工場操業に懸念（機械）。
- ・感染症対策用品の不足、価格上昇などを懸念（窯業・土石）。
- ・紙以外の印刷を検討中クライアントにいかに提案するか目下考慮中（印刷）。
- ・業界の回復には2年くらいかかるのではないかと懸念（鉄鋼）。

## 2. 卸・小売業

### 現 状

- ・コロナ禍により業界が日常生活に不可欠なライフラインであることを再認識（社会的使命）。全体的に売上は増。買い物時間帯の変化、EC等に向けた取組。従業員満足度対応（スーパー）。
- ・外食・レジャー・宴会・旅行の自粛などにより食品スーパー業界は家庭の食事が増加して売上は好調（スーパー）。
- ・徐々に戻ってきている様に感じていたが、都心部での感染者急増に伴い、観光客が増える見込みがないため、売り上げが見込めない（ホテル、居酒屋等へ卸しているため）（飲食料品）。
- ・日用品を取り扱っている部門は好調だったが、お使いものの需要は一時売上が激減した。現在は平常時の9割ほどまで回復している（飲食料品）。
- ・店頭へのユーザーの客足が戻りつつあり、潜在的な需要は業界全体であると感じる。しかし、県、国等からの自粛要請等によりどうなるかわからない不安も同様にある（自動車）。
- ・大きな落ち込みではないが、動きは悪い（建設資材）。
- ・地方製造業及び関連はこれから影響が強まるだろう（建設資材）。
- ・弊社に限れば昨対比100%以上の数値を残しているが、木材業界全体としては、コロナの影響も重なり、非常に苦しい状況にある（建設資材）。
- ・第一四半期（4－6月）の好調の余韻が残っている（建設資材）。
- ・民間の仕事が停滞している（建築）（建設資材）。
- ・県をまたぐ旅行や観光バスの往来等が減少し、減収にある（石油）。

- ・新型コロナウイルスによる第二波、第三波への懸念により営業展開がままならない（建築材料）。
- ・取扱商品によってプラスマイナスがある。マスク・消毒液・ウェットティッシュ・タオルペーパーなど家庭用品を扱っているお蔭でプラスの方が大きい。今の状況がしばらく続く（日用品）。
- ・巣ごもり需要で、地方の郊外店を中心に好影響（収入にあまり影響を受けていない層が、時間の使い方が変わったため）（書籍）。
- ・コロナ騒動が景況判断の主観に思われているが、消費税2% upの影響もあり、買い控え、投資不足で悪転化するパターンが騒動前から見受けられた。低価格競争（ダンピング等）に発展しかねない。当初からデフレを予想していたが、コロナでさらに拍車がかかる様に考える。また、景気回復（コロナ前の状況）迄2～3年かかると考えている（その他）。
- ・害虫防除業界の本業にマイナス面がありながらも、コロナや水害対策での消毒等でプラス面がありカバーできている（機械器具）。

#### 今後予想される影響や懸念

- ・新しい生活様式に向けた取組、お客様、社員の安心、安全、健康と経済活動の整合性。コロナ禍により隠れていた少子高齢化、人口減少問題が一気に噴出するだろうと危惧する（スーパー）。
- ・幅広い業種で負の影響が強く出ており、個人の所得減や雇用環境の悪化などにより消費に対するスタンスは厳しくなっていくと想定され、食品スーパー業界も売り上げ低下が見込まれる（スーパー）。
- ・アパレル業界はより厳しくなる。コロナが早く収束しないと大変（衣料品）。
- ・現在は卸売が主なため、末端消費者向けの商品開発をしてネット販売を伸ばしていきたい。新たな販路を開拓する（飲食料品）。
- ・現状が続くようであれば事業戦略の見直しも必要（飲食料品）。
- ・現在の状況はしばらく続くと想定されるが、コロナウイルス感染拡大の市場への影響によって先行きは不透明（飲食料品）。
- ・コロナのみならず、感染症への備えをし、安心を得ることが、日本全体の経済成長へつながると感じる。今後も厳しい状態が続いていくが、自動車を通じて地域の安心・安全を守っていくという自覚を持っていきたい（自動車）。
- ・2021年3月期に向け、景況感が一段と悪化する、米中関係悪化は極めて高いリスク（建設資材）。
- ・新型コロナ対策に優先的に予算が充当されている状況と認識しているが、今後インフラ整備のための公共工事等への予算が削減されることが懸念としてある（建設資材）。
- ・キャッシュレスポイント還元事業の終了に伴う、需要の落ち込みが懸念される（建設資材）。
- ・終息が長引くようであれば、下期以降は売り上げ減少や貸倒損失計上等が考えられる（建設資材）。
- ・コロナ禍前に戻るには、自家用車や観光バスの自由な移動が必要だが、当分は望めない（石油販売）。
- ・収束のめどがたたず、長期化する中、先の予定が立たず業況は厳しくなる（建設材料）。
- ・マイナスの方は業務の見直し、合理化を進め、損を出さぬよう努める。同時に中四国展開に努めていきたい（日用品）。
- ・顧客の支払い、設備需要の減少が懸念される（園芸用品）。
- ・生活リズムがコロナ前に戻る度合いが高まると、大きなマイナス影響が予想される（書籍）。

### 3. 運輸・サービス業

#### 現 状

- ・融資支援等により、当面の資金は確保しているものの、受注の停滞、減少が長らく続いており、回復の見通しが立たない状況である（運輸）。
- ・コロナ禍における行動制限やイベント（各種会合）自粛の影響を受け、営業活動が滞っており、消費低迷による業績悪化を補う施策が未だできていない（運輸）。

- ・今年の逆打ち、遍路、昼食、宿泊団体7～11月まで、オールキャンセル。法事減少（県外からの来訪が無い）、宴会団体は、3～8月で2件のみ（宿泊）。
- ・8/5時点では、宿泊は高知お城下キャンペーン、そしてGOTOキャンペーンによりほぼ90%の稼働率を確保していますが、婚礼・宴会の延期・キャンセルが再び増加してきた（宿泊）。
- ・コロナ第二波の影響で再び売上が悪化している（飲食）。
- ・観光関連、特に宿泊業は対前年比で売上が10%以下に落ち込んでいる。GOTO トラベルキャンペーンにより、多少は増えてきたが、コロナ感染リスクを伴いながらの影響であり、コストも増え、従業員も不足している状況だが、感染拡大によって宿泊客がまた激減する可能性もあり、増やすことも躊躇せざるをえない現状である。引き続き融資支援をお願いしたい（宿泊）。
- ・今年3月よりコロナウイルス関係で、すべての行事が中止となり、観光関連の弊社の業界は、大～小宴会が殆どキャンセルとなり、県外団体客はもとより、地元客までが、密になるのを恐れて、来店客の減少が続いている（飲食）。
- ・観光業界は新型コロナウイルス感染症の悪影響を直接受けており、大幅な売り上げ減少を余儀なくされている。各種補助金申請をし、支援を受けているが、先行きが見通せず苦慮している（宿泊）。
- ・ビジネス客については7～8割回復したが、観光客はキャンペーン等により7～8月は6～7割の回復。コロナの状況により9月以降の動きが悪く、9月以降の旅行会社ツアー企画が取り消しになる可能性が出て、厳しい見込み。宴会については大きな宴会がなく、非常に厳しい状況（宿泊）。
- ・料理・飲食関係での就業者を多くかかえており、大型の宴会や集まりが自粛されている現状は非常に厳しい（宿泊）。
- ・ホテル業の今後の変化に対し、新しい時代に対応できるよう模索中です（宿泊）。
- ・業界全体が低迷しかけている所に、コロナの追い打ちでダメージが大きい。同業者すべてが同様（情報通信）。
- ・コロナ禍による商談（意思決定）、プロジェクトの遅延による売り上げ減少が大きくなってきている（情報通信）。
- ・コロナの影響で、患者数減であったが、若干改善傾向にある（医療）。

#### 今後予想される影響や懸念

- ・受注が回復しない様であれば、根本的な方向転換が必要になってくる。また、雇用助成金等の保障がなくなれば、雇用維持が難しくなるという懸念がある（運輸）。
- ・コロナ影響の長期化懸念。また従前の状況に戻るとは考えられず、売上何割か減の中で、企業をいかに存続させるかが課題（運輸）。
- ・これから起こるであろう変化が加速化している（運輸）。
- ・コロナの収束が見通せない状況の中で、消費の回復による売り上げの増加については当面の間期待できず、企業の体力勝負になることから、取引先の与信管理を強化している（運輸）。
- ・感染が減少すれば、好転に向かうと思うが、朝食の状況は懸念される（宿泊）。
- ・コロナウイルスのワクチン及び終息に全てがかかっている。見通しが立たない（宿泊）。
- ・コロナ感染状況により、婚礼・宴会売上が左右される。雇用調整助成金延長を期待している（宿泊）。
- ・今年中に収束すれば、何とかなるが、来年以降続くようだと厳しい見通し（飲食）。
- ・この状況が年内続けば、ほとんどの飲食店は立ち直れないと思慮する。今は補助金で食いつないでいるが、いつまでも国も面倒を見てくれない（飲食）。
- ・雇用調整助成金を年内と言わず、当面延長していただくことが事業継続に絶対必要。でなければ、多くの失業者がでることは必然であると思う（宿泊）。
- ・ホテル業の今後の変化に対し、新しい時代に対応できる様、模索中（宿泊）。
- ・来年のオリンピック次第という所もあるが、来年も今年同様に売上は厳しいことが予想される。来年

下期の売上増は希望的観測に過ぎない（情報通信）。

- ・コロナ禍による経済活動の縮小に加えて（今春から中小にも適用となった）労働時間規制等により、企業は劇的な生産性向上が求められるも、現実の難易度は高く適正な利益の確保が困難になる（情報通信）。
- ・感染拡大の状況にもよるが、外での活動にも影響が出るようなら、当方の業界というより全体的に深刻な事態となろうが、そこまでになるのか…（機械レンタル）。
- ・今後数年は続くかもしれない。国や県の補助事業等を利用し、乗り切りたい（医療）。

## 4. 建設業

### 現 状

- ・大きな影響は受けていない（建設）。
- ・コロナウイルスの影響により、物品の仕入れが4、5月あたりから上昇している、それに伴い、人件費の便乗値上げもすでに始まっている（建設）。
- ・予算に従って執行されている内は、例年通りと思われる（建設）。

### 今後予想される影響や懸念

- ・感染拡大の状況にもよるが、外での活動にも影響がでるようなら当方の業界というより全体的に深刻な事態となろうが、そこまでになるか…（建設）。
- ・民間工事等は、低価格のまま、仕入れのみが高止まりの傾向があるため、公共工事の受注に重きを置き、利益の向上を一番の目標とする（建設）。
- ・感染拡大の程度により、不透明（建設）。
- ・感染症対策用品の不足、価格上昇などを懸念（建設）。
- ・コロナ対策による公共工事予算の削減（建設）。
- ・国の予算が継続的に続くか否か。内需拡大を希望する（建設）。

以 上

# 第150回 高知県内企業の景況調査

—2020年9月—

## Summary

- ◆ 今期（7～9月期）、自社業況の総合判断BSIは、全産業で-16となり、調査開始以来最大の下げ幅となった前期から33ポイント上昇した。依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが見られる。
- ◆ 来期（10～12月期）も全産業で-25、先行きの不透明感から悪化の見通し。
- ◆ 資金繰りBSIは、前期は7年ぶりにマイナスへと転じたが、金融機関による積極的な金融支援や国・自治体の給付金、助成金等の利用により当面の資金確保ができたと考えられ、反動増で+11となった。
- ◆ 新型コロナウイルスの終息に先が見えない厳しい状況の中、移動制限の緩和や国・自治体の支援事業、助成事業により、個人消費に持ち直しの兆しが見えてきた。

## 調査要綱

高知県の景気動向を観測するため、県内企業経営者へのアンケート方式による景況調査を年4回（2・5・8・11月）実施している。※1992年調査開始（年2回）、2000年から（年4回）変更

**調査目的** 高知県内企業の景況感把握

**調査対象** 高知県内に事業所を置く法人242/315社（回答率 76.8%）※今回調査より対象134社増

**調査方法** 郵送及び四国銀行の各店舗で配布

**調査事項** 自社業況の総合判断、売上高、経常利益、設備投資、在庫、雇用など

**調査時期** 2020年8月3日～9月3日

### 業種別回答企業数

| 業 種     | 回答企業数   | シェア(%)    |
|---------|---------|-----------|
| 製 造 業   | 飲食料品    | 18 7.4    |
|         | 木材・木製品  | 8 3.3     |
|         | 製紙      | 7 2.9     |
|         | 機械      | 9 3.7     |
|         | 窯業・土石   | 9 3.7     |
|         | その他製造   | 21 8.7    |
|         | 製造業 計   | 72 29.8   |
| 非 製 造 業 | スーパー    | 8 3.3     |
|         | 衣料品販売   | 5 2.1     |
|         | 食料品販売   | 17 7.0    |
|         | 自動車販売   | 9 3.7     |
|         | 建設資材販売  | 10 4.1    |
|         | 石油販売    | 5 2.1     |
|         | その他販売   | 31 12.8   |
|         | 運輸業     | 12 5.0    |
|         | 宿泊・飲食   | 17 7.0    |
|         | 情報通信    | 7 2.9     |
|         | その他サービス | 20 8.3    |
|         | 建設業     | 29 12.0   |
| 非製造業 計  |         | 170 70.2  |
| 合 計     |         | 242 100.0 |

### 資本金規模別回答企業数

| 規 模              | 回答企業数 | シェア(%) |
|------------------|-------|--------|
| 10百万円未満          | 31    | 12.9   |
| 10百万円以上～30百万円未満  | 101   | 42.1   |
| 30百万円以上～50百万円未満  | 51    | 21.3   |
| 50百万円以上～100百万円未満 | 35    | 14.6   |
| 100百万円以上         | 22    | 9.2    |
| 合 計              | 240   | 100.0  |

注：その他、資本金に該当しない企業（社会福祉法人など）が2社あり、上記、回答企業数には含まれていない。

### 従業員規模別回答企業数

| 規 模       | 回答企業数 | シェア(%) |
|-----------|-------|--------|
| 10人未満     | 36    | 14.9   |
| 10人～29人   | 65    | 26.9   |
| 30人～49人   | 34    | 14.0   |
| 50人～99人   | 49    | 20.2   |
| 100人～199人 | 34    | 14.0   |
| 200人～299人 | 9     | 3.7    |
| 300人以上    | 15    | 6.2    |
| 合 計       | 242   | 100.0  |

注：小数点第2位以下を四捨五入し、端数処理するため、合計が100%にならない場合がある。

BSIについて

Business Survey Index（ビジネス サーベイ インデックス）の略称。好転した企業と悪化した企業の割合の差で企業経営者のマインドから景気判断をみる指標である。前回調査と比較し、BSIがプラスであれば、その項目は「良い、好転、上昇」とみることができ、逆にマイナスであれば「悪い、悪化、下降」と判断できる。







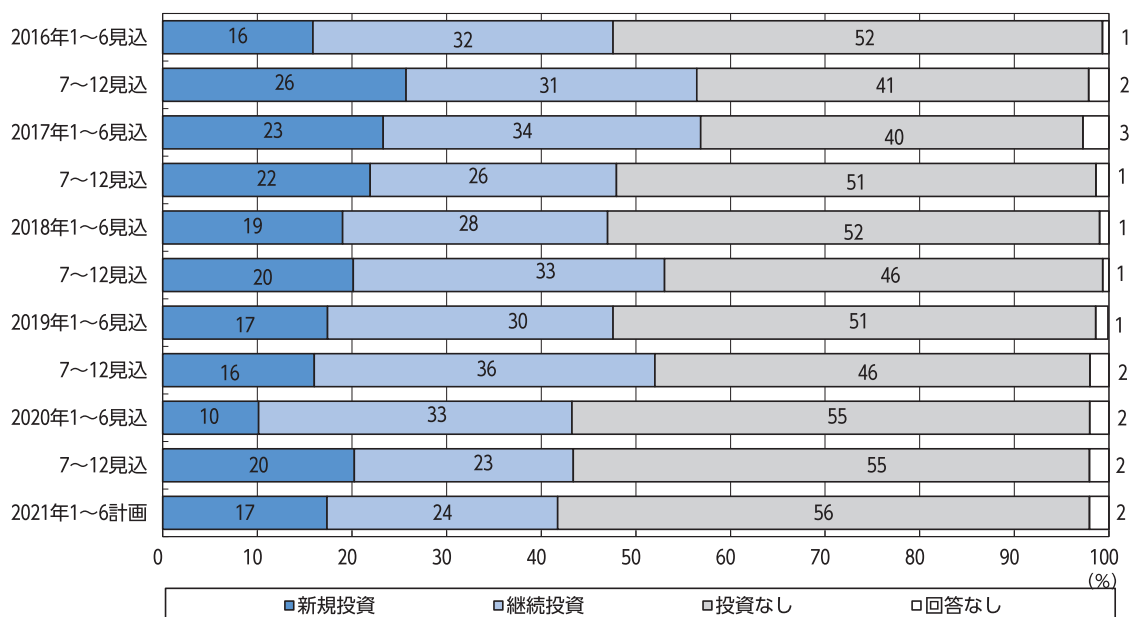




## 2 設備投資

### (1) 設備投資動向

【全産業】設備投資動向推移表



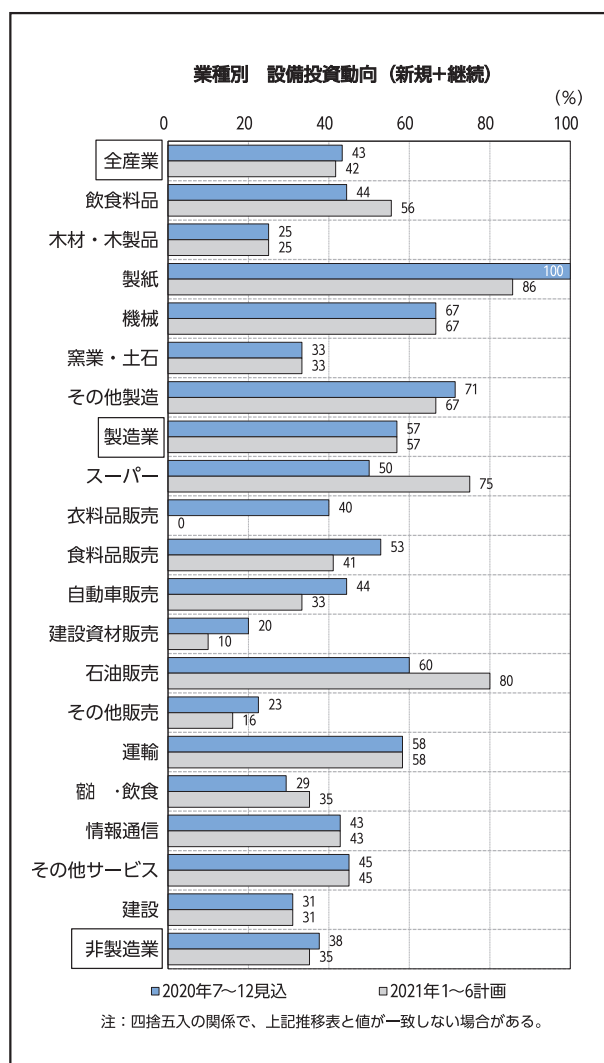
### 2020年下半年（7～12月期）見込み

～設備投資マインドは大きく低下～

- ◆ 今期、新規・継続設備投資をする企業の割合は、前期（2020年1～6月期）と同率の43%と、低い水準となった。
- ◆ 但し、設備投資のうち「新規投資」に取り組む企業の割合が前期10%から20%に上昇し、前向きな投資が増えた。
- ◆ 製造業は、前期56%から57%に1ポイント上昇。うち、「新規投資」は前期9%から28%に19ポイント上昇した。
- ◆ 非製造業は、前期36%から38%に2ポイント上昇。うち、「新規投資」は前期11%から17%に6ポイント上昇した。

### 2021年上半年（1～6月期）計画

- ◆ 2021年上半年に設備投資を計画する企業の割合は42%、うち新規投資は17%と、計画段階としては低水準。先行き不透明感から慎重姿勢になっている。









# 経 済 動 向



国内経済

月例経済報告 2020年12月

景気は、一部持ち直しの動きもみられたが、新型コロナウイルス感染症が再拡大するなか、社会経済活動に一定の制限がかけられ、下振れするリスクがある

| 項 目     | 判 断                      | 主 な 判 断 理 由                                                                                                                                              |
|---------|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個 人 消 費 | 一部に足踏みもみられるが、総じてみれば持ち直し※ | 10月の「商業動態統計」では、小売業販売額は前月比0.5%増。足元の状況は、サービスでは、感染症とそれに伴う自粛の影響がみられる。家電販売は、概ね横這い。新車販売台数は、持ち直し。旅行は極めて低水準で、国内旅行も感染症拡大による下押しがみられる。外食も持ち直しの動きが続いていたが、このところ足踏み状態。 |
| 設 備 投 資 | 減 少 ※                    | 「日銀短観」(12月調査)によると、2020年度設備投資計画は、全産業、製造業、非製造業のいずれも減少が見込まれている。                                                                                             |
| 住 宅 投 資 | 弱 含 み                    | 持家の着工は、このところ横這い。貸家の着工は、緩やかに減少。分譲住宅の着工は、弱含み。                                                                                                              |
| 公 共 投 資 | 堅 調 に 推 移                | 10月の公共工事出来高は、前月比0.1%増。また、11月の公共工事請負金額は同1.4%減。先行きについては、関連予算の執行により、堅調に推移していく見込み。                                                                           |
| 輸 出     | 増 加 ※                    | アジア及びアメリカ向けの輸出は、増加。EU及びその他地域向けの輸出は、持ち直し。                                                                                                                 |
| 輸 入     | 概 ね 横 這 い ※              | アジア及びEUからの輸入は、概ね横這い。アメリカからの輸入は、このところ下げ止まり。                                                                                                               |
| 生 産 活 動 | 持 ち 直 し ※                | 輸送機械は、持ち直し。生産用機械は概ね横這い。電子部品・デバイスはやや増加。先行きは不透明。                                                                                                           |
| 企 業 収 益 | 大幅な減少が続くが、総じてその幅は縮小※     | 「法人企業統計季報」(7～9月調査)によると、2020年7～9月期の経常利益は、前年比28.4%減、前期比33.7%増。                                                                                             |
| 業 況 判 断 | 厳しさは残るものの改善の動き※          | 「日銀短観」(12月調査)によると、「最近」の業況は、「全産業」で上昇。                                                                                                                     |
| 雇 用 情 勢 | 弱 い 動 き                  | 雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。                                                                                                         |
| 物 価     | 横 這 い                    | 消費者物価の基調を「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」でみると、政策による特殊要因を除くベースで、横這い。                                                                                                    |
| 企 業 倒 産 | 緩やかに減少※                  | 企業倒産(負債額1,000万円以上)の件数は、5カ月連続、金額は4カ月連続で前年同月を下回った。                                                                                                         |

上記の※は、前回掲載時から判断の変更があった箇所。

- ◆個人消費：「このところ持ち直し」 → 「一部に足踏みもみられるが、総じてみれば持ち直し」
- ◆設備投資：「このところ弱含んでいる」 → 「減少」
- ◆輸出：「下げ止まりつつある」 → 「増加」
- ◆輸入：「下げ止まっている」 → 「概ね横這い」
- ◆生産活動：「一部に持ち直しの兆し」 → 「持ち直し」
- ◆企業収益：「急速に減少」 → 「大幅な減少が続くが、総じてその幅は縮小」
- ◆業況判断：「改善の動き」 → 「厳しさは残るものの改善の動き」
- ◆企業倒産：「増加」 → 「緩やかに減少」

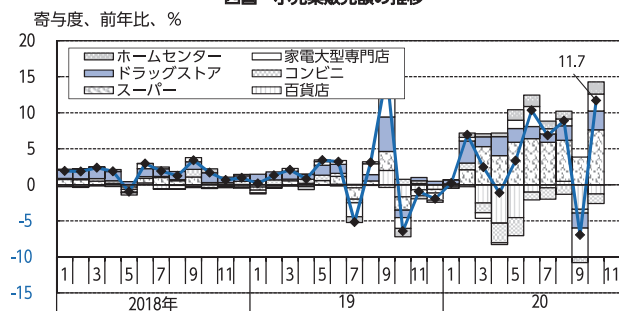
資料：内閣府「月例経済報告(2020年12月)」より当研究所作成

## 概要（2020年10月）

持ち直しの動きがみられたが、新型コロナウイルス感染再拡大により、個人消費や設備投資、生産活動、雇用情勢などに下押し圧力が強まるリスクがある

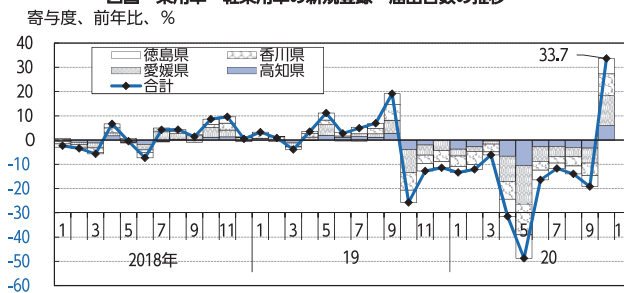
| 項目   | 判断                         | 主な判断理由                                                                                                                                                                                    |
|------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個人消費 | 一部に弱い動きがあるものの、持ち直しの動きがみられる | 10月の小売業販売額は、前年10月の消費税増税の影響で販売が落ち込んでいたことの反動で、前年同月比11.7%増と2か月ぶりに増加。ウエイトが高い順にスーパーは、前年同月比7.4%増加、コンビニエンスストアは、同4.9%減少、ドラッグストアは、同15.2%増加した。また、10月の乗用車・軽乗用車の新規登録・届出台数は前年同月比33.7%増と13か月ぶりに前年を上回った。 |
| 設備投資 | 弱めの動き                      | 四国地域設備投資計画調査（全産業）によると、2020年度は前年比8.2%増と6か年度連続増。但し、コロナウイルス感染症の収束が見通せず、先行きは不透明。                                                                                                              |
| 住宅投資 | 弱まっている                     | 10月の新設住宅着工数は、前年同月比10.9%増となり、10か月ぶりに前年を上回った。                                                                                                                                               |
| 公共投資 | 増加の動き                      | 10月の公共投資請負金額は、前年同月比14.4%減となった。但し、年度累計では、前年度比3.3%増で推移。                                                                                                                                     |
| 生産活動 | 緩やかな持ち直しの動き                | 10月の鉱工業生産指数（季節調整値）は86.0、前月比2.9%増となった。3か月後方移動平均値も83.8、前月比0.9%増と同様に上向いており、緩やかな持ち直しの動き。                                                                                                      |
| 雇用情勢 | 弱まっている                     | 10月の有効求人倍率（季節調整値）は1.14倍と、前月と同水準。一般新規求人数（新規学卒、パートタイムを除く）全体では、前年同月比15.7%減。                                                                                                                  |
| 貸出残高 | 増加                         | 9月の国内銀行貸出残高は前年同月比4.3%増と引き続き増加基調で推移している。                                                                                                                                                   |
| 企業倒産 | 落ち着いた動き                    | 10月の企業倒産件数は10件（前年同月比47.4%減）、企業負債総額は24.9億円（同77.8%増）となった。倒産件数は過去10年の10月単月の比較で8番目、負債総額は同様の比較で7番目となった。但し、今後の動向は、引き続き予断を許さない状況にある。                                                             |

四国 小売業販売額の推移



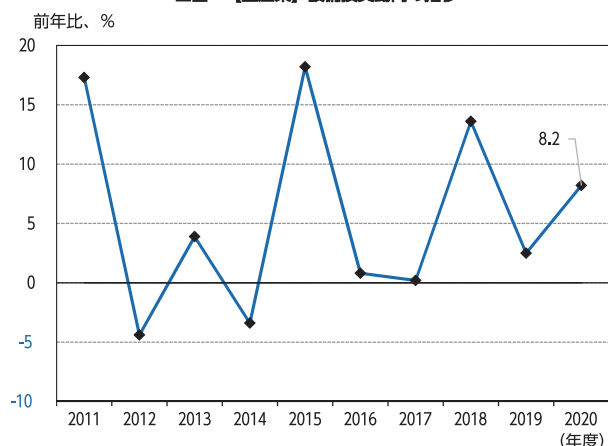
資料：四国経済産業局

四国 乗用車・軽乗用車の新規登録・届出台数の推移



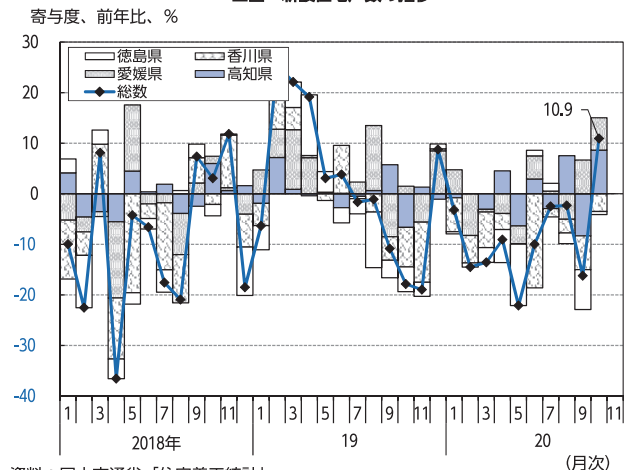
資料：四国運輸局

四国 【全産業】設備投資動向の推移



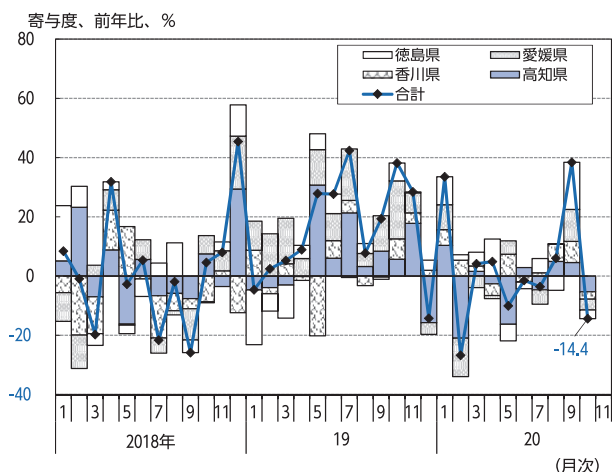
資料：株式会社日本政策投資銀行四国支店 松山事務所「四国地域設備投資計画調査」

四国 新設住宅戸数の推移



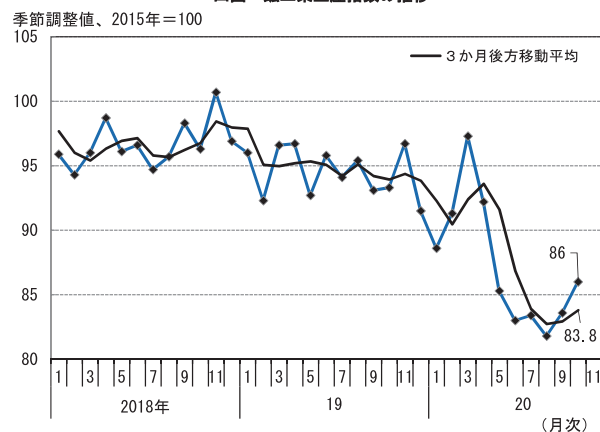
資料：国土交通省「住宅着工統計」

四国 公共工事請負金額の推移



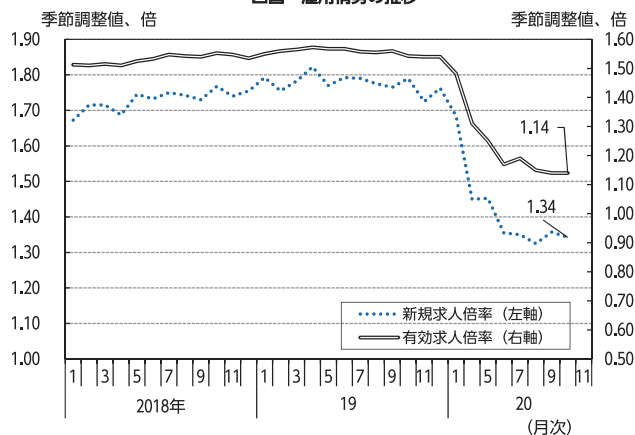
資料：西日本建設業保証株式会社

四国 鉱工業生産指数の推移



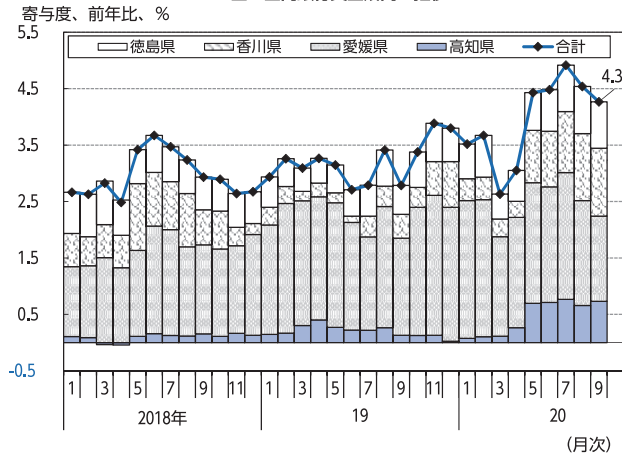
注：2019年7月分より2015年基準に改定され、これまでの値も遡及改定された。このため、前号までの数値と一致しない。  
資料：四国経済産業局

四国 雇用情勢の推移



注：各年1月に季節調整値が遡及改定されるため以前の数値とは一致しない。  
資料：厚生労働省「一般職業紹介状況」

四国 国内銀行貸出残高の推移



資料：日本銀行高松支店、同松山支店、同高知支店

景気は持ち直しの動きが続いていたが、新型コロナウイルス感染再拡大の影響で、先行きについては、安定性に乏しい経済環境が続く

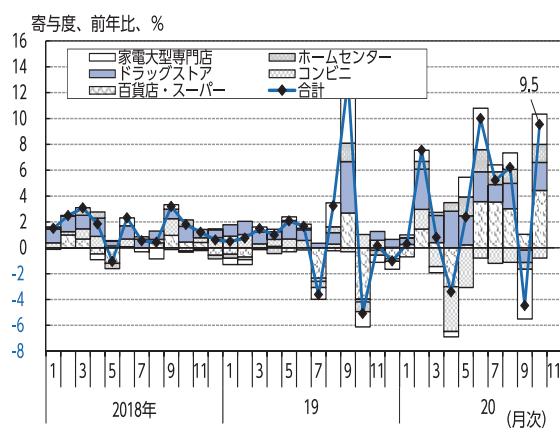
### 2020年10月概況

- ◆ 高知県の経済は、持ち直しの動きが続いていたが、新型コロナウイルス感染再拡大の影響で、先行きについては、安定性に乏しい経済環境が続く。
- ◆ 個人消費及び観光は、徐々に持ち直しつつあったが、今後については不透明。設備投資と住宅投資は弱めの動きが続く。公共投資は高水準で推移している。また、製造業の生産は、全体では弱めの動きが続いている。雇用は労働需給面、雇用所得への下押し圧力が続いているが、一段と悪化する動きはみられていない。
- ◆ 今後3か月程度の見通しについては、新型コロナウイルス感染再拡大の影響で先行き不透明な状況にある。従って、個人消費、生産、雇用情勢、設備投資、所得等あらゆる面で、不安定な状態が続くことが想定される。

| 項 目     | 判 断        | 主 な 判 断 理 由                                                                                                                                                                       |
|---------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個 人 消 費 | 一部に持ち直しの動き | 10月の小売業販売額は、昨年10月の消費税率引き上げにより需要が大きく落ち込んだため、その反動により前年同月比9.5%の増加となった。業態別ではウエイトが高い順に、百貨店・スーパー（前年同月比11.8%増）とドラッグストア（同12.1%増）等が全体を押し上げた。また、10月の乗用車・軽乗用車の登録・届出台数は前年同月比31.0%増と13か月ぶりに増加。 |
| 設 備 投 資 | 弱めの動き      | 四国地域設備投資計画調査（全産業）によると、2020年度は前年比10.9%増であるも、足もとでは見送る動きが拡がりつつある。                                                                                                                    |
| 住 宅 投 資 | 弱めの動き      | 10月の新設住宅着工戸数（持家、貸家、分譲）は、前年同月比60.5%増であるが、ウエイトが高い持家は、弱めの動き。                                                                                                                         |
| 公 共 投 資 | 高 水 準      | 10月の公共投資請負金額は、県や市町村などの受注額が2桁減で、前年同月比18.0%減となったが、高水準で推移している。                                                                                                                       |
| 生 産 活 動 | 弱めの動き      | 9月の鉱工業生産指数（季節調整値）は94.5、対前月比12.9%増となった。業種によるバラツキを伴いつつ、全体では弱めの動きが続いている。                                                                                                             |
| 観 光     | 持ち直しの動き    | 10月の観光施設入込客数は、前年同月比14.2%減で10か月連続減となった。しかし、足もとは、前年比のマイナス幅が縮小してきている。                                                                                                                |

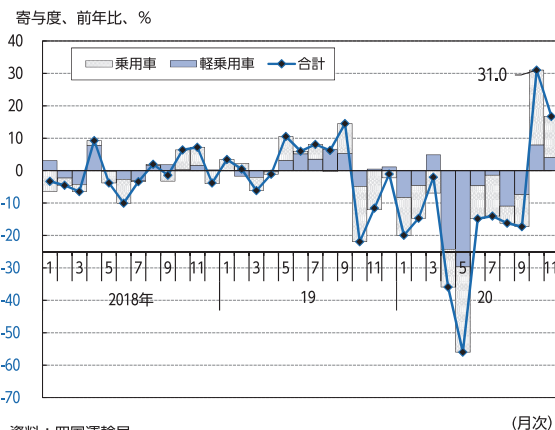
| 項 目     | 判 断     | 主 な 判 断 理 由                                                                                                |
|---------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 雇 用 情 勢 | 弱 い 動 き | 10月の有効求人倍率（季節調整値）は0.99倍。求人を増やす先が一部でみられるが、基調としては弱い動き。                                                       |
| 貸 出 残 高 | 増 加     | 9月の金融機関貸出残高は前年同月比5.9%増と増勢が続く。企業向けや地公体を中心に前年を上回る。                                                           |
| 企 業 倒 産 | 低めの水準   | 10月の企業倒産件数は4件（前年同月比1件増）、負債総額は281百万円（前年同月比18.1%増）となった。また、1989年以降の単月としては、件数は11番目、負債総額は13番目に少なく、低めの水準で推移している。 |

高知県 小売販売額の推移



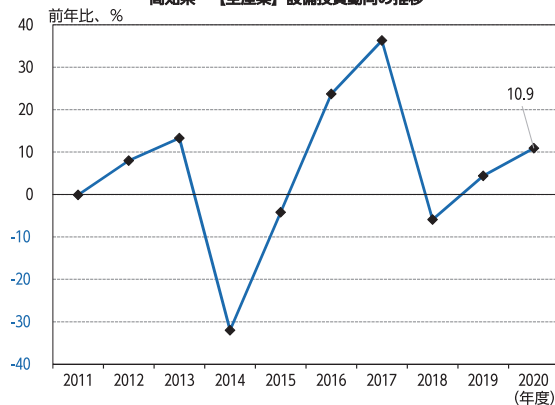
資料：四国経済産業局

高知県 乗用車・軽乗用車の登録・届出台数の推移



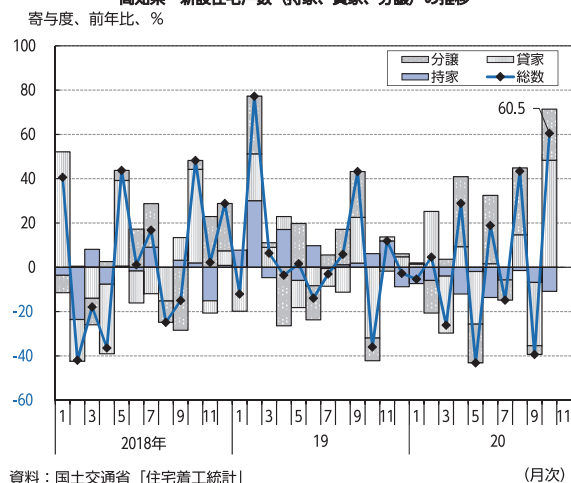
資料：四国運輸局

高知県 【全産業】設備投資動向の推移



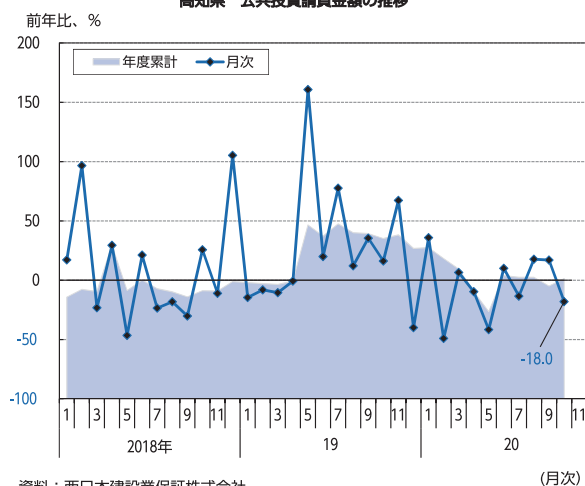
資料：株式会社日本政策投資銀行四国支店 松山事務所「四国地域設備投資計画調査」

高知県 新設住宅戸数（持家、貸家、分譲）の推移

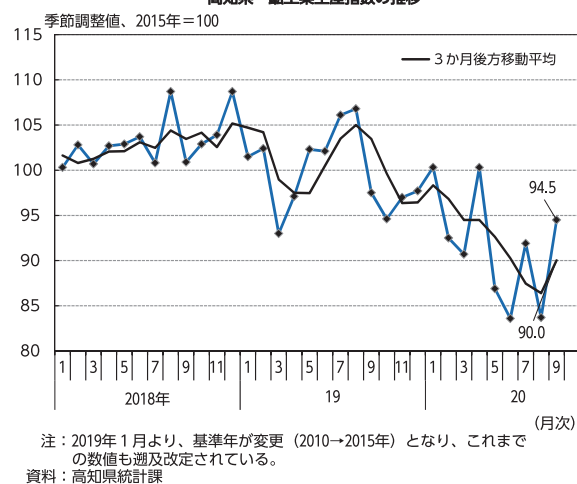


資料：国土交通省「住宅着工統計」

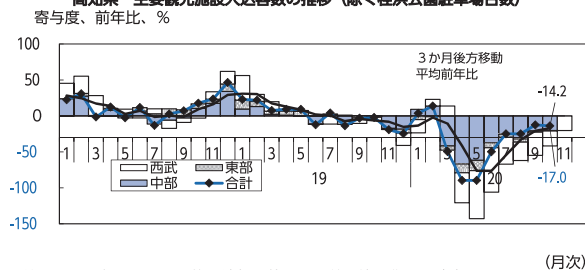
高知県 公共投資請負金額の推移



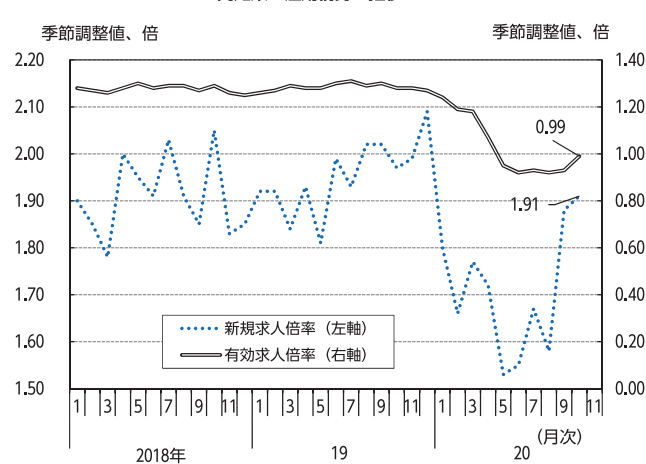
高知県 鉱工業生産指数の推移



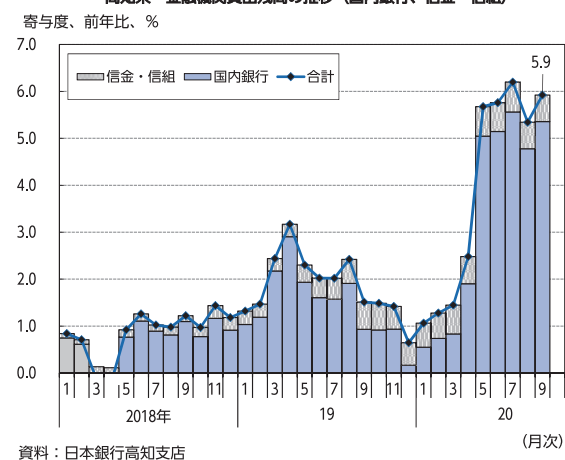
高知県 主要観光施設入込客数の推移 (除く桂浜公園駐車場台数)



高知県 雇用情勢の推移



高知県 金融機関貸出残高の推移 (国内銀行、信金・信組)



高知県 企業倒産件数と負債総額の推移

単位：件、百万円

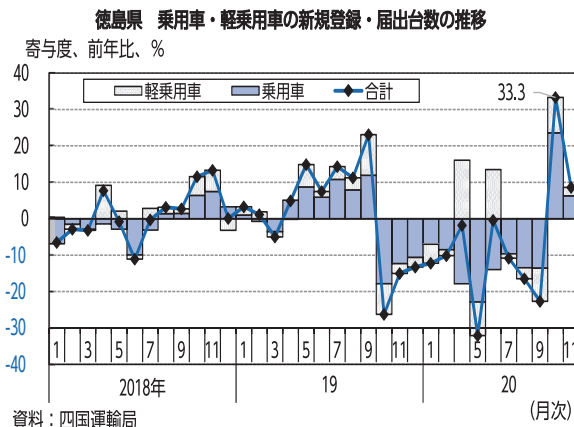
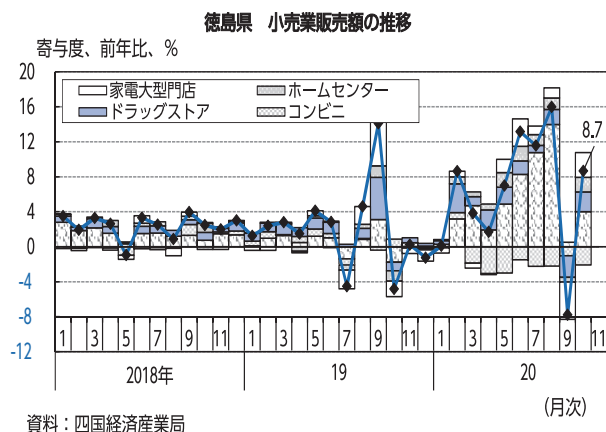
| 年    | 月  | 件数 | 負債総額 | 前年比 (%) | 年    | 月  | 件数 | 負債総額  | 前年比 (%) |
|------|----|----|------|---------|------|----|----|-------|---------|
| 2019 | 1  | 0  | 0    | 全減      | 2020 | 1  | 5  | 210   | 全増      |
|      | 2  | 2  | 150  | -85.7   |      | 2  | 3  | 189   | 26.0    |
|      | 3  | 6  | 474  | 2.6     |      | 3  | 2  | 130   | -72.6   |
|      | 4  | 2  | 157  | 1470.0  |      | 4  | 6  | 916   | 483.4   |
|      | 5  | 1  | 260  | 2500.0  |      | 5  | 1  | 28    | -89.2   |
|      | 6  | 2  | 227  | 41.9    |      | 6  | 3  | 76    | -66.5   |
|      | 7  | 4  | 246  | 30.9    |      | 7  | 0  | 0     | -100.0  |
|      | 8  | 4  | 316  | 87.0    |      | 8  | 1  | 46    | -85.4   |
|      | 9  | 3  | 182  | 23.0    |      | 9  | 4  | 1,390 | 663.7   |
|      | 10 | 3  | 238  | -65.5   |      | 10 | 4  | 281   | 18.1    |
|      | 11 | 7  | 545  | 738.5   |      | 11 |    |       |         |
|      | 12 | 4  | 347  | -92.7   |      | 12 |    |       |         |

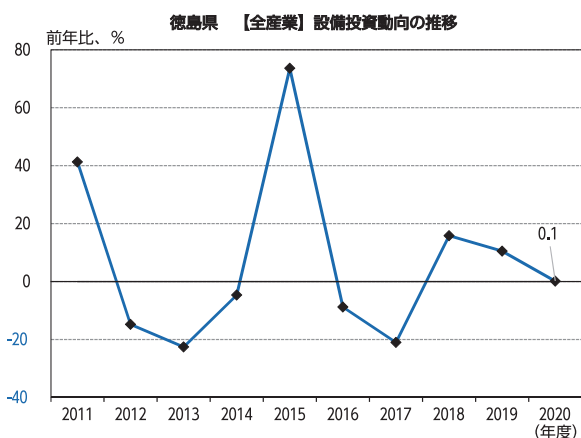
資料：東京商工リサーチ

## 概要（2020年10月）

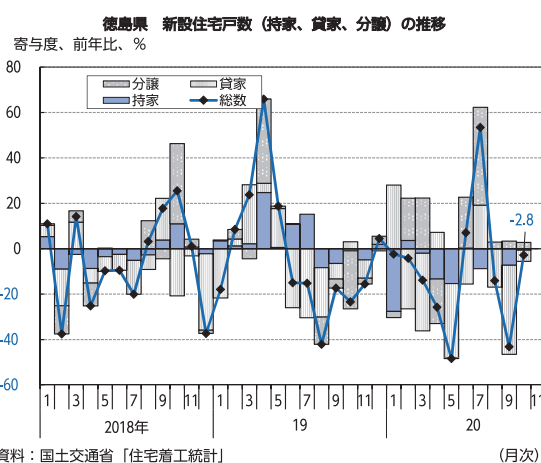
景気は一部に持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルスの再拡大の影響により、先行きは不透明

| 項目   | 判断         | 主な判断理由                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 個人消費 | 一部に持ち直しの動き | 10月の大型小売店・専門量販店は、昨年は10月が消費税率引き上げで需要が落ち込んだため、今年はその反動がみられ、全体として売上は前年を上回った。特に、消費税率引き上げ後の買い控えの影響が大きかった家電製品や身の回り品・雑貨などはその反動増により大幅増のかたちとなった。売り上げ別では、ウエイトが高い順に、百貨店・スーパー（前年同月比10.1%増）とドラッグストア（同13.7%増）等が、全体を牽引した。また、10月の乗用車・軽乗用車の新規登録・届出台数も、前年同月比33.3%増。 |
| 設備投資 | 増          | 加 四国地域設備投資計画調査（全産業）によると、2020年度は前年比0.1%増と、昨年度からは、伸び率が鈍化。                                                                                                                                                                                          |
| 住宅投資 | 減          | 少 10月の新設住宅着工数は、分譲は前年同月比42.9%増となったものの、持家同1.1%減、貸家同14.0%減で、全体では、同2.8減。                                                                                                                                                                             |
| 公共投資 | 高水準        | 10月の公共投資請負金額は、国、県、市町村、独立行政法人からの各受注額が減少。全体で、前年同月比13.3%減となったが、高水準で推移。                                                                                                                                                                              |
| 生産活動 | 持ち直しの動き    | 9月の鉱工業生産指数（季節調整値）は94.3、前月比1.3%増となった。3か月後方移動平均値でみても、7月指数89.4→8月指数91.0→9月92.6と増加基調で推移。                                                                                                                                                             |
| 雇用情勢 | 弱い動き       | 10月の有効求人倍率（季節調整値）は1.05倍で、前月比横這いで推移している。                                                                                                                                                                                                          |
| 貸出残高 | 増          | 加 9月の金融機関貸出残高は前年比5.2%増と引き続き堅調に推移している。                                                                                                                                                                                                            |
| 企業倒産 | 低めの水準      | 10月の企業倒産件数（負債総額1千万円以上）は2件（前年同月比増減なし）、企業負債総額は7.3億円（同6億円増）となり、10月の倒産件数としては、過去10年で2番目に少ない件数となった。                                                                                                                                                    |

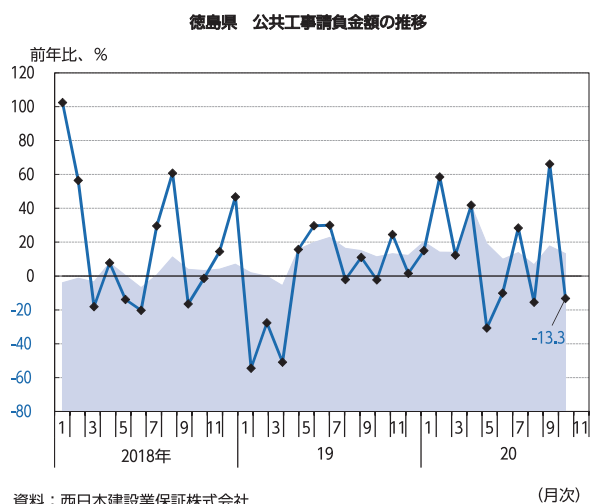




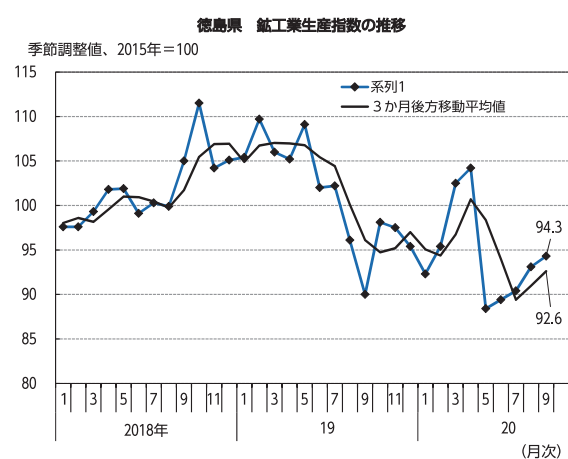
資料：株式会社日本政策投資銀行四国支店 松山事務所「四国地域設備投資計画調査」



資料：国土交通省「住宅着工統計」

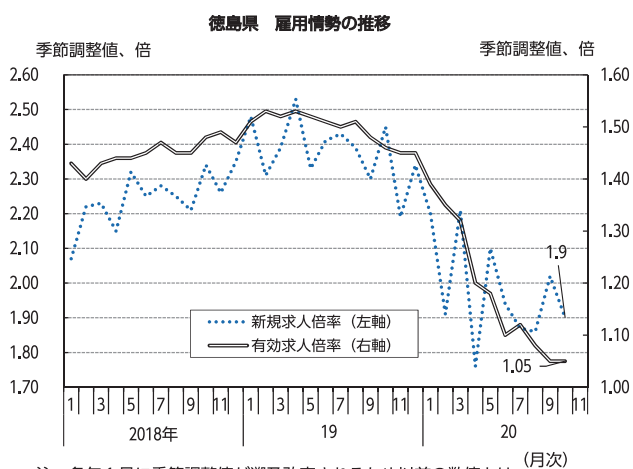


資料：西日本建設業保証株式会社



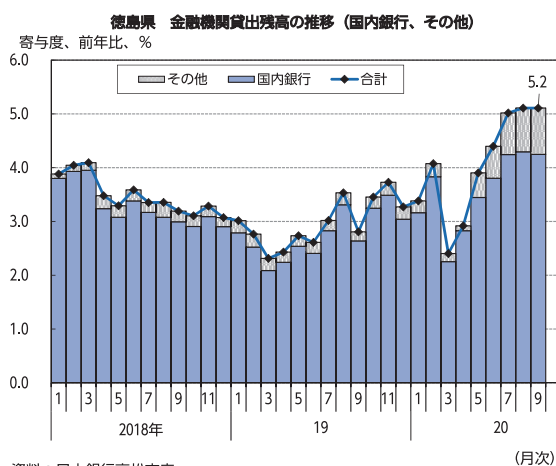
注：2019年4月に年間補正があり、以前の数値とは一致しない。

資料：徳島県



注：各年1月に季節調整値が遡及改定されるため以前の数値とは一致しない。

資料：厚生労働省「一般職業紹介状況」



資料：日本銀行高松支店

## 百貨店・スーパー販売状況

(単位：億円、%)

|        | 高 知   |       |       | 徳 島   |       |       | 香 川     |       |       | 愛 媛     |       |       | 四 国     |       |       | 全 国     |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
|        | 前年比   |       | 既存店   | 前年比   |       | 既存店   | 前年比     |       | 既存店   | 前年比     |       | 既存店   | 前年比     |       | 既存店   | 前年比     |       | 既存店   |
|        |       |       |       |       |       |       |         |       |       |         |       |       |         |       |       |         |       |       |
| 2010年  | 721.4 | 97.4  | 96.5  | 643.1 | 96.9  | 96.1  | 1,605.6 | 96.5  | 95.8  | 2,003.3 | 97.8  | 94.7  | 4,973.5 | 97.2  | 95.5  | 195,791 | 97.9  | 97.4  |
| 11年    | 721.8 | 101.1 | 99.2  | 646.9 | 100.6 | X     | 1,579.5 | 98.4  | 97.3  | 2,041.9 | 101.3 | 99.4  | 4,990.1 | 100.1 | 98.6  | 195,933 | 99.1  | 98.2  |
| 12年    | 731.9 | 101.4 | X     | 674.9 | 104.3 | X     | 1,549.6 | 98.1  | 98.0  | 2,046.3 | 100.2 | 99.8  | 5,002.7 | 100.3 | 98.8  | 195,916 | 100.0 | 99.2  |
| 13年    | 729.5 | 99.7  | 99.7  | 683.9 | 101.3 | 101.1 | 1,605.9 | 98.6  | 99.3  | 2,062.1 | 99.5  | 97.7  | 5,081.3 | 99.5  | 98.9  | 197,774 | 100.6 | 99.6  |
| 14年    | 723.6 | 99.2  | 99.2  | 727.5 | 106.4 | 99.2  | 1,607.9 | 95.8  | 101.7 | 2,108.1 | 101.1 | 98.1  | 5,167.1 | 99.8  | 99.5  | 201,946 | 101.7 | 100.9 |
| 15年    | 719.6 | 99.5  | 99.5  | 747.9 | 102.8 | 100.1 | 1,553.5 | 99.6  | 101.0 | 2,095.7 | 100.0 | 99.5  | 5,116.3 | 100.2 | 100.0 | 200,487 | 101.3 | 100.4 |
| 16年    | 715.2 | 99.4  | 99.4  | 747.3 | 99.9  | 97.1  | 1,524.5 | 101.0 | 100.3 | 2,100.8 | 100.7 | 99.1  | 5,088.0 | 100.5 | 99.2  | 195,948 | 99.6  | 99.1  |
| 17年    | 706.0 | 98.7  | 98.7  | 781.5 | 104.6 | 97.2  | 1,502.4 | 98.5  | 98.8  | 2,086.9 | 99.3  | 99.5  | 5,076.6 | 99.8  | 98.8  | 196,030 | 100.0 | 100.0 |
| 18年    | 707.8 | 100.3 | 99.0  | 811.4 | 103.8 | 98.7  | 1,515.0 | 100.8 | 98.2  | 2,070.7 | 99.2  | 99.9  | 5,104.9 | 100.6 | 99.1  | 195,992 | 100.0 | 99.5  |
| 19年    | 697.4 | 98.5  | 97.5  | 820.8 | 101.2 | 97.1  | 1,517.1 | 101.0 | 97.8  | 2,057.1 | 99.3  | 97.7  | 5,091.7 | 100.3 | 97.6  | 193,915 | 98.9  | 98.7  |
| 19年10月 | 53.0  | 89.9  | 89.9  | 64.6  | 95.5  | 89.3  | 115.4   | 92.4  | 90.2  | 159.4   | 91.0  | 88.9  | 392.4   | 92.0  | 89.5  | 14,577  | 91.9  | 91.8  |
| 11     | 56.9  | 99.5  | 97.6  | 69.6  | 100.1 | 95.7  | 123.8   | 99.2  | 97.8  | 166.8   | 97.9  | 96.8  | 417.1   | 98.9  | 97.0  | 16,108  | 98.0  | 98.2  |
| 12     | 76.4  | 98.0  | 96.7  | 84.6  | 99.6  | 95.0  | 155.8   | 97.3  | 96.8  | 213.5   | 96.7  | 95.5  | 530.2   | 97.5  | 96.0  | 20,195  | 97.0  | 97.0  |
| 20年 1月 | 58.4  | 98.2  | 96.6  | 69.1  | 100.7 | 95.8  | 124.9   | 99.3  | 98.7  | 173.1   | 99.4  | 98.2  | 425.4   | 99.4  | 97.7  | 16,064  | 98.4  | 98.6  |
| 2      | 52.7  | 103.8 | 98.0  | 64.4  | 108.2 | 101.0 | 114.1   | 103.5 | 102.9 | 149.9   | 103.5 | 102.0 | 381.0   | 104.3 | 102.1 | 14,387  | 100.3 | 100.2 |
| 3      | 59.2  | 93.7  | 91.3  | 76.9  | 97.7  | 90.0  | 145.9   | 97.3  | 95.4  | 170.6   | 96.1  | 102.0 | 452.7   | 96.4  | 92.8  | 16,204  | 91.2  | 89.9  |
| 4      | 50.4  | 85.2  | 81.8  | 68.0  | 91.5  | 81.6  | 129.0   | 90.7  | 86.4  | 142.4   | 84.4  | 92.6  | 389.8   | 87.7  | 82.8  | 13,445  | 81.4  | 77.9  |
| 5      | 56.9  | 93.2  | 90.3  | 75.4  | 98.3  | 88.8  | 139.1   | 93.1  | 89.8  | 157.5   | 91.4  | 88.1  | 428.9   | 93.4  | 89.0  | 14,555  | 86.4  | 83.1  |
| 6      | 61.3  | 101.6 | 99.5  | 82.0  | 105.8 | 99.0  | 149.8   | 101.0 | 100.1 | 178.5   | 101.4 | 100.3 | 471.4   | 102.0 | 99.9  | 16,776  | 97.7  | 96.6  |
| 7      | 62.9  | 101.7 | 99.4  | 86.4  | 112.4 | 105.6 | 153.9   | 100.1 | 98.6  | 182.2   | 100.5 | 99.3  | 485.4   | 102.4 | 100.1 | 16,918  | 96.8  | 95.8  |
| 8      | 64.1  | 100.4 | 97.3  | 96.3  | 119.7 | 112.5 | 156.9   | 100.8 | 97.5  | 179.8   | 100.9 | 99.5  | 497.1   | 104.0 | 100.7 | 16,882  | 98.8  | 96.8  |
| 9      | 60.3  | 95.4  | 92.6  | 70.6  | 88.3  | 95.9  | 145.3   | 91.8  | 89.6  | 166.9   | 91.0  | 90.9  | 443.0   | 91.4  | 91.4  | 15,680  | 87.2  | 86.1  |
| 10     | 59.2  | 103.7 | 100.8 | 71.1  | 95.9  | 104.1 | 146.4   | 106.3 | 104.6 | 173.7   | 105.5 | 103.9 | 450.4   | 103.8 | 103.7 | 16,274  | 103.8 | 102.9 |

注) X は個別データ秘匿のため公表できない箇所。

(資料) 四国経済産業局

## 乗用車新車登録・届出台数(軽乗用車含む)

(単位：台、%)

|        | 高 知    |       | 徳 島    |       | 香 川    |       | 愛 媛    |       | 四 国     |       | 全 国       |       |
|--------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|---------|-------|-----------|-------|
|        | 前年比    |       | 前年比    |       | 前年比    |       | 前年比    |       | 前年比     |       | 前年比       |       |
|        |        |       |        |       |        |       |        |       |         |       |           |       |
| 2010年  | 27,352 | 110.4 | 29,598 | 107.0 | 39,217 | 107.1 | 44,250 | 106.3 | 140,417 | 107.4 | 4,212,201 | 107.4 |
| 11年    | 21,153 | 77.3  | 23,296 | 78.7  | 31,229 | 79.6  | 35,104 | 79.3  | 110,782 | 78.9  | 3,542,770 | 83.7  |
| 12年    | 28,851 | 136.4 | 30,936 | 132.8 | 42,169 | 135.0 | 47,094 | 134.2 | 149,050 | 134.5 | 4,572,313 | 129.7 |
| 13年    | 27,925 | 96.8  | 28,847 | 93.2  | 40,672 | 96.4  | 45,299 | 96.2  | 145,248 | 97.4  | 4,562,184 | 99.8  |
| 14年    | 29,564 | 102.5 | 30,621 | 99.0  | 44,081 | 104.5 | 50,639 | 107.5 | 152,205 | 104.8 | 4,669,463 | 103.0 |
| 15年    | 25,794 | 87.2  | 26,206 | 85.6  | 37,515 | 85.1  | 41,713 | 82.4  | 131,228 | 86.2  | 4,215,798 | 90.3  |
| 16年    | 23,930 | 92.8  | 25,578 | 97.6  | 36,111 | 96.3  | 41,610 | 99.8  | 127,409 | 97.1  | 4,146,404 | 98.4  |
| 17年    | 25,878 | 108.1 | 26,777 | 104.7 | 38,502 | 106.6 | 44,474 | 106.9 | 135,631 | 106.5 | 4,386,314 | 105.8 |
| 18年    | 30,070 | 116.2 | 31,789 | 118.7 | 45,909 | 119.2 | 53,259 | 119.8 | 161,027 | 118.7 | 5,134,931 | 117.1 |
| 19年    | 25,576 | 98.8  | 27,312 | 102.0 | 38,640 | 100.4 | 44,797 | 100.7 | 136,325 | 100.5 | 4,301,012 | 98.1  |
| 19年10月 | 1,508  | 78.1  | 1,501  | 73.7  | 2,235  | 74.3  | 2,659  | 72.6  | 7,903   | 74.3  | 259,915   | 74.9  |
| 11     | 1,677  | 88.4  | 1,835  | 85.0  | 2,644  | 87.5  | 3,143  | 87.8  | 9,299   | 87.2  | 315,730   | 88.4  |
| 12     | 1,776  | 98.9  | 1,697  | 86.7  | 2,499  | 84.6  | 2,969  | 87.7  | 8,941   | 88.6  | 284,271   | 88.9  |
| 20年 1月 | 1,700  | 80.0  | 1,999  | 87.8  | 2,746  | 85.0  | 3,364  | 91.3  | 9,809   | 86.7  | 301,188   | 87.9  |
| 2      | 2,143  | 85.3  | 2,357  | 89.9  | 3,311  | 82.4  | 3,860  | 93.5  | 11,671  | 87.9  | 362,047   | 90.2  |
| 3      | 2,991  | 98.0  | 3,487  | 105.2 | 4,246  | 89.0  | 5,162  | 96.0  | 15,503  | 93.9  | 485,199   | 91.1  |
| 4      | 1,235  | 64.1  | 2,153  | 98.2  | 2,137  | 73.7  | 2,296  | 68.0  | 7,126   | 68.6  | 219,229   | 69.6  |
| 5      | 869    | 44.0  | 1,110  | 52.2  | 1,551  | 53.8  | 1,839  | 52.6  | 5,369   | 51.2  | 174,402   | 53.3  |
| 6      | 1,818  | 85.2  | 1,802  | 80.2  | 2,746  | 86.8  | 3,075  | 82.1  | 9,441   | 83.6  | 283,882   | 77.4  |
| 7      | 1,874  | 86.0  | 2,176  | 89.2  | 2,910  | 90.3  | 3,396  | 87.3  | 10,356  | 88.3  | 330,766   | 87.2  |
| 8      | 1,554  | 83.8  | 1,671  | 83.6  | 2,422  | 86.4  | 2,984  | 88.5  | 8,631   | 86.0  | 270,341   | 85.2  |
| 9      | 2,362  | 82.7  | 2,363  | 77.3  | 3,494  | 81.7  | 4,019  | 81.1  | 12,238  | 80.8  | 390,839   | 85.2  |
| 10     | 1,976  | 131.0 | 2,001  | 133.3 | 2,949  | 131.9 | 3,637  | 136.8 | 10,563  | 133.7 | 339,910   | 130.8 |

(資料) 四国経済産業局

## 新設住宅着工戸数

(単位：戸、%)

|        | 高 知   |       | 徳 島   |       | 香 川   |       | 愛 媛   |       | 四 国    |       | 全 国     |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|---------|-------|
|        |       | 前年比   |       | 前年比   |       | 前年比   |       | 前年比   |        | 前年比   |         | 前年比   |
| 2010年  | 2,680 | 93.7  | 3,822 | 101.3 | 5,450 | 92.8  | 6,517 | 95.8  | 18,469 | 95.7  | 813,126 | 103.1 |
| 11年    | 2,807 | 104.7 | 3,375 | 88.3  | 5,510 | 101.1 | 7,262 | 111.4 | 18,954 | 102.6 | 834,117 | 102.6 |
| 12年    | 2,761 | 98.4  | 3,616 | 107.1 | 4,976 | 90.3  | 7,535 | 103.8 | 18,888 | 99.7  | 882,797 | 105.8 |
| 13年    | 3,612 | 130.8 | 4,516 | 124.9 | 7,217 | 145.0 | 8,613 | 114.3 | 23,958 | 126.8 | 980,025 | 111.0 |
| 14年    | 2,706 | 98.0  | 4,023 | 111.3 | 5,899 | 118.5 | 6,937 | 92.1  | 19,565 | 81.7  | 892,261 | 91.0  |
| 15年    | 2,734 | 101.0 | 3,802 | 94.5  | 6,412 | 108.7 | 6,817 | 98.3  | 19,765 | 101.0 | 909,302 | 102.0 |
| 16年    | 3,098 | 113.3 | 4,506 | 118.5 | 6,898 | 107.6 | 7,278 | 106.8 | 21,780 | 110.2 | 967,705 | 106.4 |
| 17年    | 3,326 | 107.4 | 4,859 | 107.8 | 7,063 | 102.4 | 7,696 | 105.7 | 22,944 | 105.3 | 964,641 | 99.7  |
| 18年    | 3,288 | 106.1 | 4,335 | 96.2  | 5,913 | 85.7  | 7,178 | 98.6  | 20,714 | 95.1  | 942,370 | 97.4  |
| 19年    | 3,310 | 99.5  | 4,122 | 84.8  | 5,680 | 80.4  | 7,756 | 100.8 | 20,868 | 91.0  | 905,123 | 93.8  |
| 19年10月 | 239   | 64.1  | 325   | 76.8  | 403   | 71.8  | 689   | 104.6 | 1,656  | 82.1  | 77,123  | 92.6  |
| 11     | 311   | 109.9 | 326   | 84.7  | 528   | 67.7  | 553   | 82.3  | 1,718  | 81.0  | 73,523  | 87.3  |
| 12     | 288   | 94.4  | 326   | 104.8 | 369   | 101.7 | 730   | 122.5 | 1,713  | 108.8 | 72,174  | 92.1  |
| 20年 1月 | 193   | 94.6  | 251   | 97.7  | 276   | 75.0  | 607   | 112.0 | 1,327  | 96.8  | 60,341  | 89.9  |
| 2      | 228   | 99.6  | 318   | 95.8  | 426   | 81.9  | 507   | 78.1  | 1,479  | 85.5  | 63,105  | 87.7  |
| 3      | 185   | 74.3  | 387   | 86.4  | 513   | 77.7  | 715   | 98.5  | 1,800  | 86.4  | 70,729  | 92.4  |
| 4      | 296   | 136.4 | 329   | 74.3  | 384   | 87.3  | 581   | 89.5  | 1,590  | 90.9  | 69,162  | 87.1  |
| 5      | 148   | 57.6  | 222   | 51.6  | 324   | 99.7  | 641   | 91.3  | 1,335  | 77.9  | 63,682  | 87.7  |
| 6      | 368   | 119.5 | 365   | 106.7 | 297   | 43.9  | 808   | 113.0 | 1,838  | 90.0  | 71,101  | 87.2  |
| 7      | 302   | 85.6  | 349   | 108.4 | 434   | 93.9  | 600   | 101.5 | 1,685  | 97.5  | 70,232  | 88.6  |
| 8      | 392   | 143.6 | 209   | 86.4  | 355   | 89.2  | 590   | 88.1  | 1,546  | 97.7  | 69,101  | 90.9  |
| 9      | 234   | 61.3  | 188   | 57.1  | 411   | 77.5  | 659   | 122.0 | 1,492  | 83.8  | 70,186  | 90.1  |
| 10     | 382   | 159.8 | 315   | 96.9  | 345   | 85.6  | 795   | 115.4 | 1,837  | 110.9 | 70,685  | 91.7  |

(資料) 四国経済産業局

## 公共工事保証請負高

4 県 (単位：百万円、%) 四国、全国 (単位：億円、%)

|        | 高 知     |       | 徳 島     |       | 香 川     |       | 愛 媛     |       | 四 国   |       | 全 国     |       |
|--------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|
|        |         | 前年比   |         | 前年比   |         | 前年比   |         | 前年比   |       | 前年比   |         | 前年比   |
| 2010年  | 127,609 | 88.7  | 105,539 | 92.6  | 82,114  | 102.6 | 135,186 | 91.6  | 4,505 | 92.8  | 113,626 | 89.4  |
| 11年    | 115,665 | 90.6  | 107,315 | 101.7 | 79,909  | 97.3  | 125,597 | 92.9  | 4,285 | 95.1  | 109,755 | 96.6  |
| 12年    | 131,847 | 114.0 | 119,723 | 111.6 | 98,111  | 122.8 | 140,285 | 111.7 | 4,900 | 114.3 | 125,423 | 114.3 |
| 13年    | 152,659 | 115.8 | 139,184 | 116.3 | 101,092 | 103.0 | 162,638 | 115.9 | 5,556 | 129.7 | 141,492 | 128.9 |
| 14年    | 152,652 | 100.0 | 129,687 | 93.2  | 99,849  | 98.8  | 155,401 | 95.6  | 5,376 | 96.8  | 147,942 | 104.6 |
| 15年    | 150,377 | 98.5  | 120,025 | 92.5  | 104,308 | 104.5 | 166,209 | 107.0 | 5,408 | 100.6 | 139,365 | 94.2  |
| 16年    | 159,429 | 106.0 | 121,547 | 101.3 | 113,963 | 109.3 | 153,254 | 92.2  | 5,482 | 101.4 | 142,743 | 102.4 |
| 17年    | 152,972 | 95.9  | 117,801 | 96.9  | 120,870 | 106.1 | 136,465 | 89.0  | 5,281 | 96.3  | 143,691 | 100.7 |
| 18年    | 156,516 | 102.3 | 128,363 | 109.0 | 94,111  | 77.9  | 136,998 | 100.4 | 5,160 | 97.7  | 139,209 | 96.9  |
| 19年    | 182,597 | 119.4 | 127,270 | 108.0 | 97,887  | 81.0  | 190,313 | 139.5 | 5,981 | 113.2 | 148,383 | 103.3 |
| 19年10月 | 18,057  | 116.2 | 13,508  | 124.5 | 9,324   | 148.5 | 20,280  | 174.7 | 612   | 138.1 | 13,480  | 105.1 |
| 11     | 15,024  | 167.2 | 7,512   | 101.6 | 7,636   | 118.7 | 13,396  | 120.5 | 436   | 128.4 | 9,110   | 111.2 |
| 12     | 9,896   | 60.0  | 10,964  | 115.0 | 3,673   | 128.9 | 11,314  | 87.3  | 358   | 85.7  | 8,038   | 96.4  |
| 20年 1月 | 9,302   | 135.8 | 6,063   | 158.5 | 6,108   | 125.7 | 10,072  | 124.6 | 315   | 133.5 | 6,415   | 109.6 |
| 2      | 8,376   | 50.9  | 6,463   | 112.3 | 5,099   | 167.3 | 8,238   | 62.3  | 282   | 73.2  | 6,994   | 94.6  |
| 3      | 16,163  | 106.6 | 9,212   | 144.9 | 15,563  | 107.8 | 23,588  | 90.7  | 645   | 104.1 | 14,870  | 113.0 |
| 4      | 14,451  | 90.3  | 25,328  | 141.8 | 8,609   | 78.3  | 14,246  | 95.8  | 626   | 104.8 | 23,054  | 103.2 |
| 5      | 10,172  | 58.3  | 5,700   | 69.3  | 7,855   | 172.5 | 16,510  | 113.9 | 402   | 89.9  | 13,291  | 93.6  |
| 6      | 16,734  | 110.1 | 10,749  | 89.9  | 9,534   | 89.9  | 15,735  | 99.8  | 528   | 98.6  | 16,386  | 113.2 |
| 7      | 18,865  | 86.5  | 13,841  | 217.7 | 13,600  | 94.2  | 14,938  | 57.4  | 612   | 98.8  | 15,432  | 117.2 |
| 8      | 16,711  | 117.7 | 13,389  | 75.0  | 9,278   | 84.4  | 14,441  | 97.1  | 538   | 90.1  | 13,009  | 58.3  |
| 9      | 19,274  | 117.0 | 24,412  | 296.9 | 13,880  | 304.8 | 27,081  | 186.8 | 846   | 189.2 | 14,932  | 105.1 |
| 10     | 14,808  | 82.0  | 11,713  | 142.5 | 7,783   | 170.9 | 18,050  | 124.5 | 524   | 117.2 | 13,426  | 94.5  |

(資料) 西日本建設業保証(株)、四国経済産業局

# 企業倒産

4 県（単位：百万円、％） 四国、全国（単位：億円、％）

|        | 高 知 |        |        | 徳 島 |        |         | 香 川 |        |        | 愛 媛 |        |       | 四 国 |      |       | 全 国    |        |       |
|--------|-----|--------|--------|-----|--------|---------|-----|--------|--------|-----|--------|-------|-----|------|-------|--------|--------|-------|
|        | 件数  | 負債総額   |        | 件数  | 負債総額   |         | 件数  | 負債総額   |        | 件数  | 負債総額   |       | 件数  | 負債総額 |       | 件数     | 負債総額   |       |
|        |     |        | 前年比    |     |        | 前年比     |     |        | 前年比    |     |        | 前年比   |     |      | 前年比   |        |        | 前年比   |
| 2010年  | 50  | 7,243  | 35.6   | 56  | 9,582  | 62.9    | 75  | 20,541 | 1.0    | 132 | 29,977 | 56.5  | 313 | 673  | 22.8  | 13,321 | 71,608 | 103.3 |
| 11年    | 52  | 9,228  | 127.4  | 46  | 7,811  | 81.5    | 77  | 19,875 | 96.8   | 90  | 28,380 | 94.7  | 265 | 652  | 96.8  | 12,734 | 35,929 | 50.2  |
| 12年    | 50  | 6,337  | 68.7   | 61  | 11,648 | 149.1   | 70  | 16,481 | 82.9   | 92  | 28,578 | 100.7 | 273 | 630  | 96.6  | 12,124 | 38,346 | 106.7 |
| 13年    | 50  | 10,781 | 170.1  | 33  | 6,683  | 57.4    | 50  | 9,272  | 56.3   | 59  | 12,378 | 43.3  | 192 | 391  | 62.0  | 10,855 | 27,823 | 72.6  |
| 14年    | 45  | 6,788  | 107.1  | 42  | 4,797  | 41.2    | 45  | 9,909  | 60.1   | 67  | 28,738 | 100.6 | 199 | 502  | 71.6  | 9,731  | 18,741 | 67.4  |
| 15年    | 36  | 8,432  | 124.2  | 45  | 11,109 | 231.6   | 51  | 7,203  | 72.7   | 48  | 9,732  | 33.9  | 180 | 364  | 72.5  | 8,812  | 21,124 | 112.7 |
| 16年    | 31  | 4,920  | 58.3   | 32  | 4,972  | 44.8    | 40  | 6,729  | 93.4   | 43  | 16,247 | 167   | 146 | 329  | 90.3  | 8,446  | 20,063 | 95.0  |
| 17年    | 29  | 5,565  | 113.1  | 34  | 5,789  | 116.4   | 36  | 6,346  | 94.3   | 40  | 11,449 | 70.5  | 139 | 291  | 88.6  | 8,405  | 31,676 | 157.9 |
| 18年    | 38  | 9,986  | 179.4  | 33  | 4,491  | 77.6    | 49  | 13,075 | 206.0  | 44  | 8,266  | 72.2  | 164 | 358  | 122.9 | 8,235  | 14,584 | 46.9  |
| 19年    | 38  | 3,142  | 56.5   | 43  | 6,402  | 110.6   | 63  | 10,474 | 165.0  | 48  | 9,511  | 83.1  | 192 | 295  | 101.3 | 8,384  | 14,238 | 44.9  |
| 19年10月 | 3   | 238    | -65.5  | 2   | 130    | -88.8   | 10  | 829    | -12.5  | 4   | 204    | -11.7 | 19  | 14   | -53.7 | 780    | 886    | -24.7 |
| 11     | 7   | 545    | 738.5  | 3   | 455    | 550.0   | 5   | 1,873  | 940.6  | 6   | 1,553  | 247.4 | 21  | 44   | 480.8 | 727    | 1,225  | 1.0   |
| 12     | 4   | 347    | -92.7  | 5   | 878    | 970.7   | 4   | 744    | 396.0  | 2   | 58     | -97.8 | 15  | 20   | -73.3 | 704    | 1,569  | 91.8  |
| 20年 1月 | 5   | 210    | -      | 4   | 577    | 3.2     | 3   | 106    | -36.9  | 2   | 140    | -36.1 | 14  | 10   | 9.2   | 773    | 1,247  | -25.9 |
| 2      | 3   | 189    | 26.0   | 2   | 320    | -69.4   | 7   | 115    | -77.5  | 5   | 460    | 283.3 | 17  | 11   | -39.8 | 651    | 713    | -63.5 |
| 3      | 2   | 130    | -72.6  | 11  | 3,057  | 198.8   | 6   | 360    | -79.1  | 3   | 1,053  | 79.7  | 22  | 46   | 20.8  | 740    | 1,059  | 9.0   |
| 4      | 6   | 999    | 536.3  | 5   | 240    | -80.2   | 4   | 2,210  | 957.4  | 5   | 1,310  | -54.1 | 20  | 48   | 8.3   | 743    | 1,450  | 35.6  |
| 5      | 1   | 28     | -89.2  | 4   | 1,360  | 1,005.7 | 4   | 305    | -43.3  | 2   | 110    | -82.9 | 11  | 18   | 15.1  | 314    | 813    | -24.3 |
| 6      | 3   | 76     | -66.5  | 9   | 2,772  | 712.9   | 2   | 2,125  | 111.4  | 4   | 1,585  | 5.9   | 18  | 66   | 115.1 | 780    | 1,288  | 48.1  |
| 7      | 0   | 0      | -100.0 | 3   | 426    | 1,477.8 | 4   | 110    | -95.5  | 7   | 1,056  | 289.7 | 14  | 16   | -46.2 | 789    | 1,008  | 7.9   |
| 8      | 1   | 46     | -85.4  | 2   | 180    | 157.1   | 0   | 0      | -100.0 | 2   | 2,400  | 106.4 | 5   | 26   | 53.0  | 667    | 724    | -16.9 |
| 9      | 4   | 1,390  | 663.7  | 5   | 391    | -26.9   | 2   | 100    | -66.0  | 3   | 76     | -78.0 | 14  | 20   | 47.4  | 565    | 707    | -37.4 |
| 10     | 4   | 281    | 18.1   | 2   | 730    | 461.5   | 2   | 1,240  | 49.6   | 2   | 240    | 17.6  | 10  | 25   | 78.4  | 624    | 783    | -11.6 |

（資料）東京商工リサーチ、四国経済産業局

### 米大統領選挙

#### バイデン氏勝利 トランプ大統領敗北認めず

11月7日、米大統領選は民主党のバイデン前副大統領（77歳）が勝利し、当選を確実にした。激戦の東部ペンシルバニア州を制し、当選に必要な選挙人の過半数を獲得した。

バイデン氏は同日夜、勝利宣言をし「分断でなく団結させる大統領になる」と述べた。共和党のトランプ大統領（74歳）は敗北を認めず「違法な票があった」と指摘し法廷闘争に入ると宣言し、今後の展開は波乱含みとなっている。

バイデン氏の経済政策については、新型コロナウイルス対策を含む財政政策や通商政策に注目が集まっている。（11月9日）

### 世界最大級経済圏誕生へ

#### RCEP 関税91% 段階撤廃 15カ国署名

11月15日、日本や中国、韓国、東南アジア諸国連合（ASEAN）など15カ国は、地域的な包括経済連携（RCEP）協定に署名した。米中の対立が続くなか、世界の貿易額の3割を占める最大級の経済圏が誕生する。

今回の協定に参加する国の輸出入に係る関税の91%の品目で段階的に撤廃する。例えば、日本が今回初めてFTAを結ぶ中国や韓国に輸出する時の関税が大幅に引き下げとなる。（11月16日）

### 投資マネー流入

#### NY株、初の3万ドル

11月24日、ニューヨーク株式市場でダウ工業株30種平均が、史上初の3万ドルを突破した。今回の米国株の主役は、アップルなど「GAFA」と呼ばれる巨大IT4社とマイクロソフトで、5社は米企業の時価総額トップテンの上位を占める。

新型コロナウイルスによる経済危機が生んだ金融緩和であふれた資金がIT企業に集中し、実体経済との乖離というリスクを抱えている。

（11月26日）

### GO TO 全国で停止

#### 12月28日から1月11日まで

12月14日夜、菅首相は、新型コロナウイルス感染症対策本部を首相官邸で開き、観光支援事業「GO TO トラベル」を12月28日から1月11日まで、全国で一時的に停止すると表明した。

全国的な感染が再び拡大している状況を鑑み、当初の一部地域の利用制限から全国的な運用見直しに方針転換を図った。

政府は「GO TO トラベル」の全国一律の停止について、キャンセル料を無料として、事業者に国が補償する方針を固めた。（12月15日）

### 来年度予算案 最大の106兆6,097億円 コロナ予備費5兆円

政府は12月21日、2021年度予算案を閣議決定した。一般会計総額106兆6,097億円となり、9年連続で過去最大となった。経済が減速し税収が落ち込むなか、歳出が拡大するため、予算の約4割を借金で賄うことになり、財政運営は一層厳しさを増す。

予算の総額を押し上げた要因は、コロナ対策の予備費5兆円で、高齢化社会に伴い社会保障費も35兆8,421億円と過去最大を更新した。また、防衛費も9年連続で増加し過去最大となった。

（12月22日）

### 大納会31年ぶり高値

#### 2万7,444円 前年比3,787円

2020年最後の株式取引となる大納会の12月30日、東京株式市場の日経平均株価（225種）の終値は、2万7,444円17銭で、バブル経済期の1989年以来31年ぶりの高値となった。

3月にはコロナショックで株価が大きく下落したが、その後は各国政府による財政出動や日本銀行などの中央銀行の金融緩和が株価を押し上げた。上昇ペースの速さには実体経済以上の期待先行の危うさも漂い、警戒感も指摘されている。

（12月31日）

販路拡大・業務効率化等

# Webを活用して 経営課題を解決!

ビジネスに直結した  
経営支援サービスを定額料金で  
ご提供いたします!

新機能  
新サービス  
拡充中!

〈会員制〉経営支援プラットフォーム

## 四国銀行 Big Advance

### 全国の会員がつながる!/ ビジネスマッチング機能

全国の金融機関が連携し会員企業同士が繋がることで地域を超えたビジネスマッチングを実現。新たな技術やサービス、新事業が創出可能に。

参加  
金融機関 全国  
42社

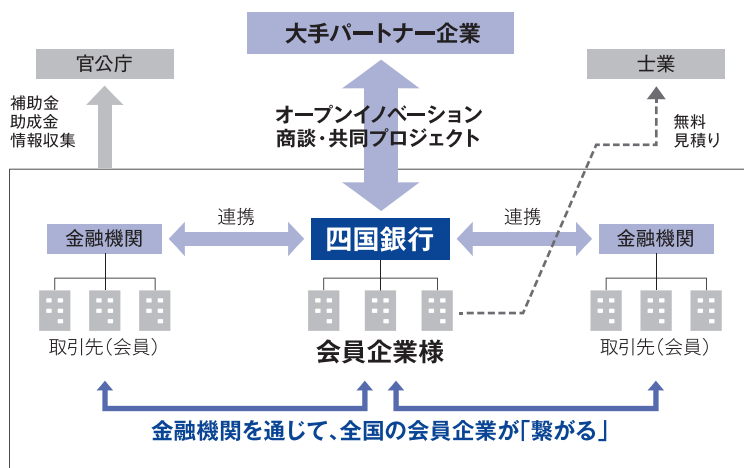
(2020年9月30日現在)

参加  
中小企業 全国  
2万7,000社超

(2020年9月30日現在)

ビジネスマッチング機能  
チャット  
士業相談  
ホームページ作成  
福利厚生サイト「FUKURI」  
補助金・助成金情報  
安否確認

全部  
使える!



初期費用 入会金 0円 基本料金 月額 3,300円 (税込)

※クレジットカードでのお支払いのみとなります。

※引き落とし日はカード会社によって異なります。なお、ご利用明細には「四国銀行 Big Advance」と記載されます。  
※領収証の発行は行いません。

※本サービス登録と同時にSHARES(登録無料)にも自動登録されますのでご了承ください。

### ●お申し込みからご利用まで簡単ステップ

当行ホームページから専用サイトへアクセス

四国銀行 検索

または、右記の二次元バーコードから専用サイトへアクセス

※四国銀行とお取引のある法人・個人事業主のお客さまが対象となります。  
※ご利用開始までは最大3営業日かかります。

サービスサイトはこちら



スマホも  
OK!



詳しくは下記、もしくはお近くの営業店までお問い合わせ下さい。

 四国銀行 Big Advance 事務局

メールアドレス  
big-advance0175@shikokubank.co.jp

地域とともに歩む、皆様のしぎんグループ



四国銀行



ファイナンスリース業

四銀総合リース株式会社

TEL 088-884-5171

住宅ローン・個人ローンの債務保証業務

四国保証サービス株式会社

TEL 088-885-5300

コンピュータシステムの開発業務

四銀コンピューターサービス株式会社

TEL 088-862-0520

四国銀行各代理店の運営業務

四銀代理店株式会社

TEL 088-871-2251

産業・経済の調査、投資事業組合財産の管理・運営

株式会社 四銀地域経済研究所

TEL 088-883-1152



経営情報

1

2021  
No.176

編集・発行

株式会社四銀地域経済研究所

〒780-0823 高知市菜園場町1-21 四国総合ビル3階  
TEL (088) 883-1152 FAX (088) 883-1156